

『東海道歴史文化回廊』の創出に関する方針

平成19年3月

亀山市

目 次

I	『東海道歴史文化回廊』の創出についての基本的な考え方	1
1.	『東海道歴史文化回廊』の創出の趣旨と本方針策定の目的	1
(1)	『東海道歴史文化回廊』を創出する背景	1
(2)	『東海道歴史文化回廊』を創出する趣旨	2
(3)	本方針策定の目的	3
2.	『東海道歴史文化回廊』のイメージ	4
(1)	『東海道歴史文化回廊』の設定	4
II	『東海道歴史文化回廊』を創出するための取り組みの方針	6
1.	取り組みの全体像	6
2.	『東海道歴史文化回廊』の設定について	8
(1)	「ストーリー」と「ルート」について	8
(2)	「エリア施設」について	10
(3)	「ビューポイント」について	14
3.	「ストーリー」の提供について	17
(1)	説明・案内について	17
(2)	学習活動について	20
(3)	情報発信について	23
4.	景観形成への寄与について	25
5.	まちづくりへの寄与について	26
III	『東海道歴史文化回廊』の具体例の検討	28
1.	『東海道歴史文化回廊』の「ストーリー」の設定	28
2.	「ストーリー」の提供イメージ	39
(1)	「伊勢亀山城をゆく」の提供イメージ	39
(2)	「秀吉が来た！」の提供イメージ	40
IV	『東海道歴史文化回廊』の創出にあたって	42
1.	計画策定のプロセスについて	42
(1)	基本計画の策定	42
(2)	パンフレットの作成	43
(3)	実施計画の作成	43
2.	取り組みの体制について	44
3.	取り組みの評価・点検について	45
	参考資料	47
1.	各ルートの検討内容	48
2.	既存資料一覧	88
3.	指定文化財一覧	89

I 『東海道歴史文化回廊』の創出についての基本的な考え方

1. 『東海道歴史文化回廊』の創出の趣旨と本方針策定の目的

(1) 『東海道歴史文化回廊』を創出する背景

古くから東西交通の要衝として栄えてきた本市には、日本の古代、中世、近世、近現代の歴史上、重要な役割を担ってきた文化遺産が数多くあります。それらは、地域の中で本市の歴史や文化を形成するものとして守り受け継がれてきた貴重な「資産」であり、まちの個性として地域づくりに活かし、また後世に伝えていくべきものです。

本市ではこれまで、関宿の町並み保存や亀山城二の丸周辺の整備、亀山市歴史博物館事業、各種文化財の調査及び指定など、歴史文化遺産の保全・活用を進めてきました。しかし、これまでの文化財行政においては、歴史文化遺産を守り伝えてきた地域の生活からは切り離された「単体のもの」として扱ってきた面があります。また、歴史文化遺産を地域で積極的に「活用していく視点」も十分ではなく、市民との関わりも興味のある人に限定される傾向にありました。

こうした状況に加えて、核家族化や転出入の増加、人間関係の希薄化などコミュニティの変質が進み、歴史文化遺産を「地域の文化」として共通に認識し、「地域で守り伝えていく」ことが困難になってきています。

このような反省にたって、市民の日々の暮らしの中で歴史文化遺産が守られ活かされるよう、歴史文化遺産の背景にある悠久の歴史が育んできた「物語」を改めて捉え直し、その「物語」により歴史文化遺産をつないでいくことで、歴史文化遺産としての活用の可能性や市民との関わりを高めていく新たな取り組みの展開が求められています。

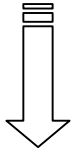
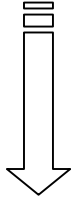
(2) 『東海道歴史文化回廊』を創出する趣旨

『東海道歴史文化回廊』とは、

地域の「歴史」、「文化」、「自然」などの資産を、「東海道」を基軸に、市民や来訪者の興味と関心を高める多様なストーリーでテーマづけしたネットワークでつなぎ、人々の暮らしとともに守り生かしていくことで、地域に、そして亀山市に交流の輪と一体感を醸成していくしくみです。

本市では、今後、『東海道歴史文化回廊』を創出することで、地域の歴史文化資産の新たな展開を進めていきます。その目的を達成するため、次の3つの段階を考えています。

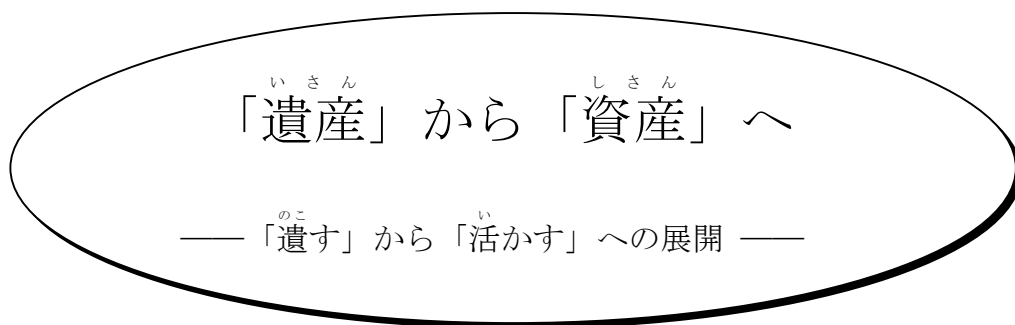
【『東海道歴史文化回廊』がめざすもの】

- **ホップ** ① 物語の創造（点から線へ）
-  地域の「点」としての歴史文化遺産を、多様な物語（ストーリー）でつなぐことで「点から線へ」と展開し、より多くの市民がその価値に気づき、資産として活用しやすくなることをめざします。
- ステップ** ② 歴史文化資産の景観としての体感（面への展開）
-  歴史文化資産をそれらを育んできた周辺環境と調和した景観として体感することは、その歴史文化資産の価値やストーリーをより深く理解するうえで役立ちます。そのため、歴史文化資産を周辺環境と合わせて保全することで「面へと展開」していきます。
- ジャンプ** ③ 遺産から資産としての活用（まちづくりへの貢献）
- 地域の人々によって守り伝えられてきた貴重な「歴史文化資産」を保全し、市民や地域が関わる中で活用していくことで、歴史・文化を活かしたまちづくりを進めます。

(3) 本方針策定の目的

本方針は、市民・地域を中心に様々な団体や組織、行政等がそれぞれの取り組みを進めつつ連携・協働しながら『東海道歴史文化回廊』を創出することができるよう、その基本的な考え方とめざすべき方向性を明らかにするものです。

【キャッチフレーズ】



※キャッチフレーズにもとづき、「歴史文化資産」と呼ぶことにします。

2. 『東海道歴史文化回廊』のイメージ

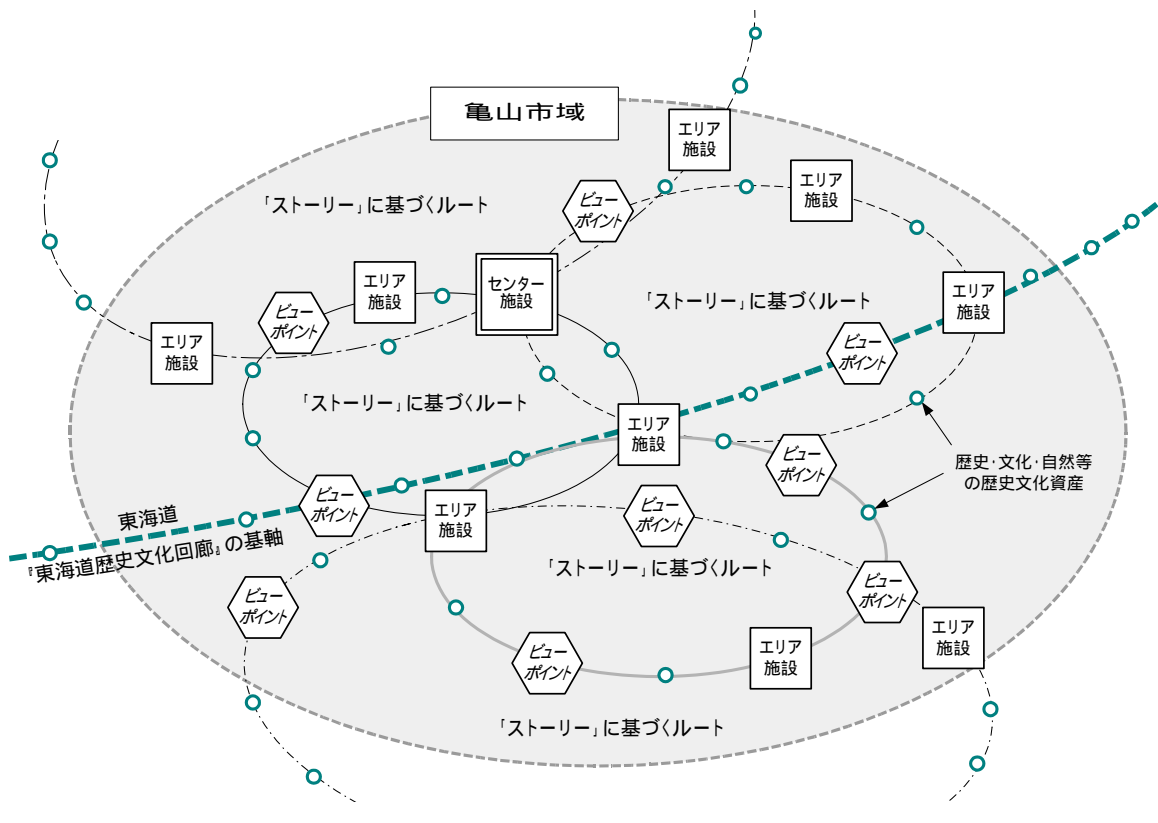
(1) 『東海道歴史文化回廊』の設定

『東海道歴史文化回廊』は、市内外の多くの人々の興味を引きつける歴史・文化・自然等のテーマで「ストーリー」を設定し、その「ストーリー」にもとづいて地域の歴史文化資産を「ルート」でつなぐものです。「ルート」は市内全域に広がりを持ち、さらに市外へとつながります。

「ルート」上には、市民の‘活動・交流・情報拠点’である「エリア施設」、及び‘眺望のポイント’である「ビューポイント」を設定し、これらが様々な取り組みや活動の拠点となります。

また、『東海道歴史文化回廊』は、「シナリオ」として地域を中心に様々な団体や組織が関わり、連携・協働しながら創出していきます。

【『東海道歴史文化回廊』のイメージ】



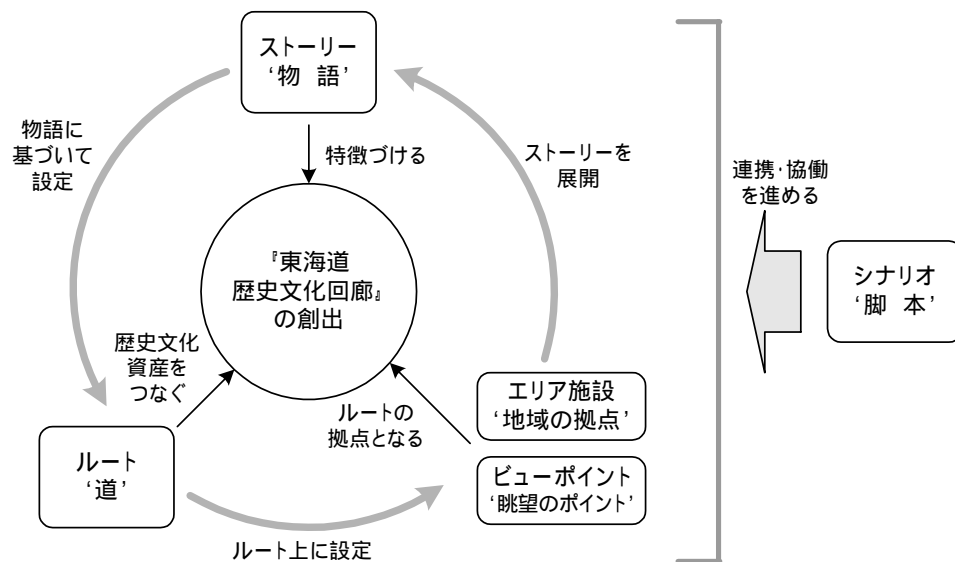
【『東海道歴史文化回廊』のキーワード】

「ストーリー」 : 歴史・文化・自然等をテーマとした‘物語’です。「ストーリー」が地域の歴史文化資産を特徴づけることで、市内外の多くの人々の興味を引きつけ、『東海道歴史文化回廊』の創出を促進します。

「ルート」 : それぞれの「ストーリー」にもとづいて、地域の歴史文化資産をつないだ‘道’です。「東海道」を基軸に様々な「ルート」を設定します。「ルート」は市内全域に広がり、さらに市外へとつながります。

「エリア施設」 : 市民や来訪者の‘活動・交流・情報（ガイダンス）拠点’であり、「ルート」を回る上での‘起点’にもなります。多くの人が集まる施設や、「ストーリー」を理解する上で重要な歴史文化資産を設定します。

「ビューポイント」: 「ストーリー」や「ルート」の魅力を感じられる‘眺望のポイント’です。周辺環境と調和した歴史文化資産の保全や景観形成の拠点となります。



「シナリオ」 : 『東海道歴史文化回廊』を創出するため、地域を主役に様々な主体が連携・協働して進めていく取り組みの‘脚本’です。

「シナリオ」の‘主役’は市民及び地域（コミュニティ）であり、‘共演者’や‘支援者’‘批評家’等として様々な団体や組織が関わり連携・協働して取り組みを進めます。また、市は「シナリオ」の進行全体を支援・促進します。

Ⅱ 『東海道歴史文化回廊』を創出するための取り組みの方針

1. 取り組みの全体像

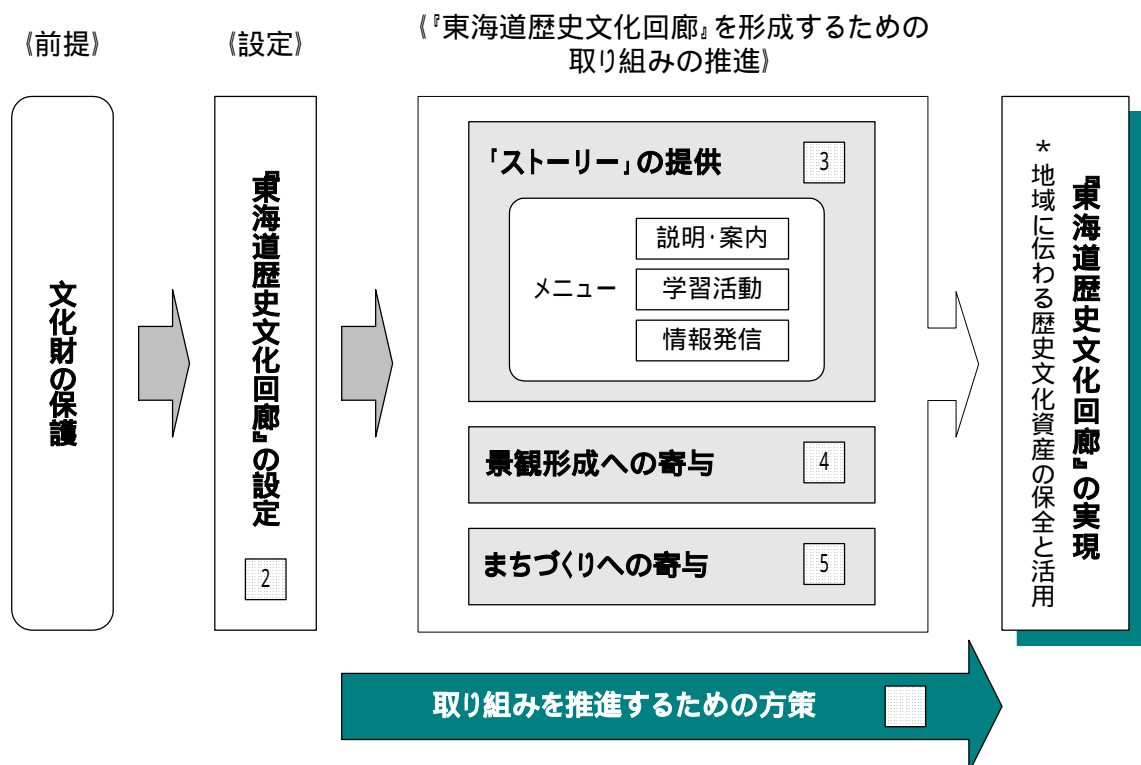
『東海道歴史文化回廊』創出の全体像としては、まず、地域の歴史・文化・自然等テーマづけした「ストーリー」と、「ストーリー」で地域の歴史文化資産をつないだ「ルート」、地域に点在する「エリア施設」、「ビューポイント」からなる『東海道歴史文化回廊』を設定することから始まります。

その上で、「ストーリーの提供」、「景観形成への寄与」、「まちづくりへの寄与」の大きく3つの方向で様々な取り組みを進めることにより、『東海道歴史文化回廊』を創出し、歴史文化資産の保全と活用を進めます。

本章では、『東海道歴史文化回廊』創出の全体像を項目別に取り上げ、その方針やイメージを明らかにします。

また、『東海道歴史文化回廊』の創出を推進するための方策についてはIV章で示します。

【『東海道歴史文化回廊』創出の全体像】



『東海道歴史文化回廊』を創出していくためには、その前提として、市を中心に歴史文化資産の保護を積極的に進めることが重要です。

そのため、歴史文化資産の保護の方針を次のように定めます。

《歴史文化資産の保護の方針（『東海道歴史文化回廊』を創出する前提）》

歴史文化資産の調査・研究事業の充実

- ・ 地域の貴重な歴史文化資産を発見し適切に保護できるよう、文化財の調査・研究事業の充実に努めます。

歴史文化資産の指定と保護の推進

- ・ 特に重要な歴史文化資産については、法令にもとづく文化財として指定・登録を進め、その保護事業を推進します。

地域による保護・継承への支援

- ・ 可能な限り地域の中で歴史文化資産を保護・継承できるよう、自治会やコミュニティ、保護・保全団体等への支援及び指導を行います。



発掘調査の様子

2. 『東海道歴史文化回廊』の設定について

(1) 「ストーリー」と「ルート」について

『東海道歴史文化回廊』は、地域の歴史文化資産を、歴史・文化・自然等の多様な「ストーリー」でテーマづけした「ルート」でつなぐことで、多くの市民や来訪者の興味を引きつけ、それらを保全・活用して創出していくものです。

そのため、「ストーリー」は、地域の歴史・文化・自然等が持つ物語を魅力的かつ多様なテーマで取り上げて設定し、「ルート」は、『東海道歴史文化回廊』を創出するための取り組みが市内の各地域で展開されるよう、市全域をできるだけ網羅するかたちで設定することが重要です。

《「ストーリー」と「ルート」の設定方針》

「ストーリー」と「ルート」は、地域の歴史・文化・自然等の歴史文化資産や、活用すべき既存施設の配置等を考慮しつつ、なるべくテーマが多岐にわたり、また地域で偏らないようバランスを取って設定します。

また、「ストーリー」と「ルート」は、『東海道歴史文化回廊』の創出や、歴史文化資産の掘り起こし（調査・研究）が進む中で、順次、追加や変更、調整を行っていきます。

「ストーリー」と「ルート」の設定と活用イメージを次のように定めます。

ストーリー

(設定イメージ)

- ・ 地域の歴史・文化・自然等による、多岐にわたるテーマで設定します。
- ・ 『東海道歴史文化回廊』創出の状況や地域の意向をふまえ、追加や変更を順次行います。

(活用イメージ)

- ・ 様々な情報媒体を通じて、市民や来訪者への情報提供と、市外への情報発信を行い、多くの人の『東海道歴史文化回廊』への興味・関心を引きつけます。

ルート

(設定イメージ)

- ・ 「ストーリー」にもとづき、関連する歴史文化資産や、地域の「エリア施設」、「ビューポイント」をつなぐかたちで設定します。
- ・ 全ての「ルート」で市全域を網羅できるよう、「ストーリー」と合わせて地域間のバランスをみながら設定し、一部は市外へとつながります。

(活用イメージ)

- ・ 市民や来訪者が「ルート」を分かりやすく回ることができるよう、情報提供や、「ルート」の起点や結節点など重要なポイントへの看板等の設置、それぞれの「ルート」に適した交通手段で回るための道路環境の整備等を進めます。
- ・ 東海道や古代王権の道など「ルート」自体が歴史文化資産であるものや、重要な歴史文化資産に面する場所など、重要な区間については、沿道の景観形成に努めます。

「ルート」の活用・整備事例



東海道への屋号看板の設置



道路舗装及び電柱の撤去前の関宿中町

(2)「エリア施設」について

「エリア施設」は、市民や地域の‘活動・交流・情報（ガイダンス）拠点’であり、「ルート」を回る上での‘起点’にもなる施設や場所です。

機能別に「センター施設」、「テーマコア施設」、「地域コア施設」、「サテライト施設」の4種類を設定し、市民や来訪者による活用を図ります。

《「エリア施設」の設定と活用の方針》

「エリア施設」は、既存の施設等を「センター施設」、「テーマコア施設」、「地域コア施設」、「サテライト施設」の4種類に再編して設定し、その種類に応じて、機能の付加や、機能を付加するための環境整備、人員の配置・育成等を行います。

また、『東海道歴史文化回廊』の‘活動・交流・情報（ガイダンス）拠点’として、市民や来訪者への学習・活動メニューの提供や、分かりやすい説明・案内、情報提供を行います。

歴史文化資産でもある「サテライト施設」については、積極的に保全します。

「エリア施設」の種類別に、機能と設定イメージ、市民及び来訪者との関わりのイメージを次のように定めます。

センター施設

（機能）

- ・ 『東海道歴史文化回廊』を総合的に案内する「ビジターセンター」であり、『東海道歴史文化回廊』に関する取り組みの支援の総合拠点です。

（設定イメージ）

- ・ 将来的に、既存施設の活用も含めて、1か所を構想・整備していきます。

（市民との関わり）

- ・ 『東海道歴史文化回廊』に関わるあらゆる市民活動の総合的な支援拠点として、市民活動やイベントのスペースの提供、各種組織・団体への支援窓口の設置等を行います。

（来訪者との関わり）

- ・ 「ビジターセンター」として、『東海道歴史文化回廊』の総合的な説明・案内を行います。

コア施設（テーマコア施設、地域コア施設）

（機能）

- ・それぞれのテーマ（歴史・文化・自然等）や地域で、来訪者の案内や、『東海道歴史文化回廊』を創出するための様々な活動を進める拠点です。

（設定イメージ）

- ・市民や来訪者に開かれた施設を、「テーマコア施設」、「地域コア施設」でそれぞれ設定します。

設定例

「テーマコア施設」：亀山市歴史博物館、関宿旅籠玉屋歴史資料館、かめやま美術館、鈴鹿馬子唄会館、石水溪野外研修センター、亀山市総合環境センター、名阪森林パーク、里山公園「みちくさ」など

「地域コア施設」：集会所、公民館、地区コミュニティセンター、寺社、学校、道の駅、公に使える個人宅など

（市民との関わり）

- ・『東海道歴史文化回廊』に関わる市民や地域の活動のためのスペースを提供します。
- ・「テーマコア施設」では、各テーマに関する情報提供や相談への対応、講師の紹介、リーダーの育成などの支援を行います。
- ・地区コミュニティなどの地域団体や、市民活動団体、民間の組織・団体など市民や民間による施設の管理・運営をめざします。

（来訪者との関わり）

- ・パンフレットの設置や案内ボランティアの活動拠点（窓口）の設置等を行うことで、「ストーリー」と「ルート」の説明・案内の拠点となります。

P 23, 24 参照

- ・「ルート」を回る際の便益施設として、休憩所、トイレ、駐車場等の確保・整備を行うとともに、公共交通機関へのアクセス性の向上に努めます。

「コア施設」の設定事例



関宿旅籠玉屋歴史資料館（テーマコア施設）



野登地区コミュニティセンター（地域コア施設）

サテライト施設

(機能)

- ・ 歴史文化資産の保全と公開を通じて、市民や来訪者の「ストーリー」への理解を深め、また歴史文化資産の愛護意識を高める拠点です。

(設定イメージ)

- ・ 「ストーリー」への理解を深める上で重要な歴史文化資産を設定します。

設定例 亀山城多門櫓、正法寺山荘跡、旧館家住宅、加藤家屋敷跡、関宿散策拠点施設、鈴鹿峠自然の家、のぼりの森公園など

(市民との関わり)

- ・ 歴史文化資産の愛護活動の拠点となるよう、所有者と保全団体、市が協力し、保全・公開を進めます。

(来訪者との関わり)

- ・ 来訪者に歴史文化資産を分かりやすく説明・案内できるよう、共通の標柱・説明板等の設置や、公開するための環境整備を行います。

P 17 参照

「サテライト施設」の設定事例



亀山城多門櫓



旧館家住宅

【「エリア施設」の設定・活用のイメージ】

種 類	機 能	設定イメージ	活用イメージ	
			市民との関わり	来訪者との関わり
センター施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジターセンター ・取り組みの総合拠点 	将来的に1か所を構想・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動の総合的な支援拠点 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な説明・案内
コア施設	<ul style="list-style-type: none"> ・案内拠点 ・市民活動の拠点 	亀山市歴史博物館、関宿旅籠玉屋歴史資料館、かめやま美術館 等	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに関する相談・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ルート」の説明・案内 ・「ルート」を回る際の便益施設
		集会所、公民館、地区コミュニティセンター、寺社、学校、道の駅、公に使える個人宅 等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動の拠点 ・施設の管理・運営への市民参画 	
サテライト施設	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化資産の保全と公開 	個別の重要な歴史文化資産	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化資産の保全・公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・標柱・説明板等の設置 ・公開するための環境整備

(3)「ビューポイント」について

本市では、重要伝統的建造物群保存地区である関宿のまちなみ保存事業や、亀山城の多門櫓や二の丸帯曲輪等の整備、坂本棚田の保全など、地域の歴史文化資産を活かした景観形成の取り組みを進めていますが、それらは一部の地域に限られており、市全体には広がっていません。

地域の歴史文化資産は、周辺的环境とともに守り伝えられてきたものであり、それらと調和させることで、見る人の心によりその価値を訴えかけ、また、地域に一体感を与えます。

そのため、市民や来訪者が眺望を通じて地域の歴史や文化を体感でき、また景観への意識を高める拠点として、「ビューポイント」及び「重点ビューポイント」を設定します。

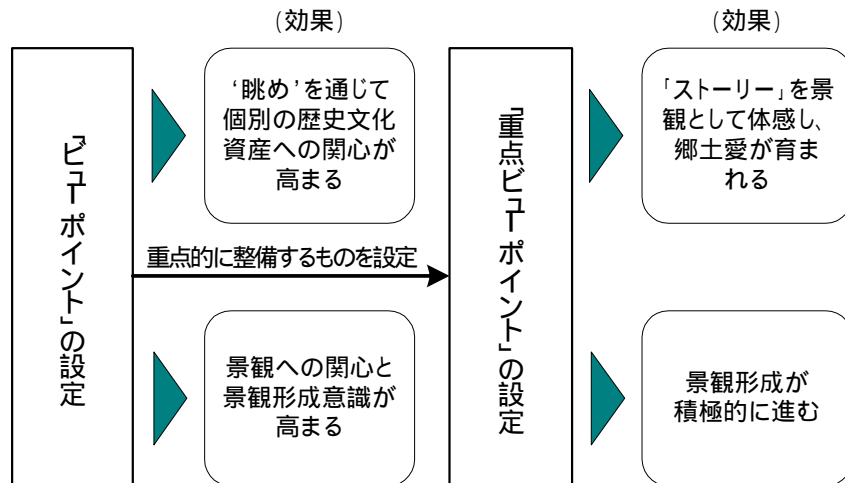
《「ビューポイント」の設定と活用の方針》

眺望を通じて、歴史文化資産が持つ「ストーリー」を体感できる場所を、「ビューポイント」として設定します。

具体的には、歴史文化資産を周辺の景観と一体的に見せる場所や、眺望から「ストーリー」を見せる場所、眺望自体が歴史文化資産であるものなど、様々な種類の「ビューポイント」を設定します。

また、「ビューポイント」のうち、複数の歴史文化資産を一体的に見せたり、「ストーリー」を理解するうえで特に重要な眺望については、「重点ビューポイント」として位置づけ、眺望の保全と、多くの市民や来訪者に対応するための眺望点の環境整備、情報提供等を積極的・重点的に進めます。「重点ビューポイント」は、『東海道歴史文化回廊』の創出が進むにしたがい順次増やしていきます。

【「ビューポイント」の設定と効果イメージ】



「ビューポイント」及び「重点ビューポイント」を、多くの市民や来訪者が知り、またその活用が進むよう、案内及び環境整備の方針を次のように定めます。

ビューポイント

設定例 お城見庭園、二の丸帯曲輪、西出丸土居、眺閑亭（百六里庭）、高札場、坂本棚田の展望台、天神の観音公園、中の山パイロットなど

（案内の方針）

- パンフレットやホームページで、位置や眺望の内容に関する情報を提供します。 P 19,24 参照

（環境整備の方針）

- 「ビューポイント」の情報を提供・発信することで、市民の歴史文化資産を活かした景観への興味・関心を高め、市民の主体的な景観形成を促進します。 P 25 参照

「ビューポイント」の事例



眺閑亭（百六里庭）



二の丸帯曲輪

重点ビューポイント

設定例 関氏の盛衰を伝える古城群、鈴鹿関からの眺望、亀山薪能と多門櫓、東海道関宿のまちなみなど

(案内の方針)

- ・ 位置と眺望の内容について、パンフレットやホームページを通じた情報提供と、眺望点への表示板・説明板の設置を行います。 **P 19 参照**
- ・ 眺望点がわかりにくい場合は、順路の案内板を設置します。 **P 18 参照**
- ・ 観光の目玉として取り上げ、積極的に情報を発信します。

(環境整備の方針)

- ・ 多くの人々が安心して訪れられるよう、眺望点の整備や表示、付近への駐車場の確保、公共交通へのアクセス性の向上を図ります。
- ・ 眺望を通じて「ストーリー」を体感できるよう、景観の保全を積極的に進めます。 **P 25 参照**

「重点ビューポイント」の事例



鈴鹿関跡からの眺望



東海道関宿のまちなみ (眺望亭からの眺望)



八島橋たもとの眺望 (古城群)

3. 「ストーリー」の提供について

(1) 説明・案内について

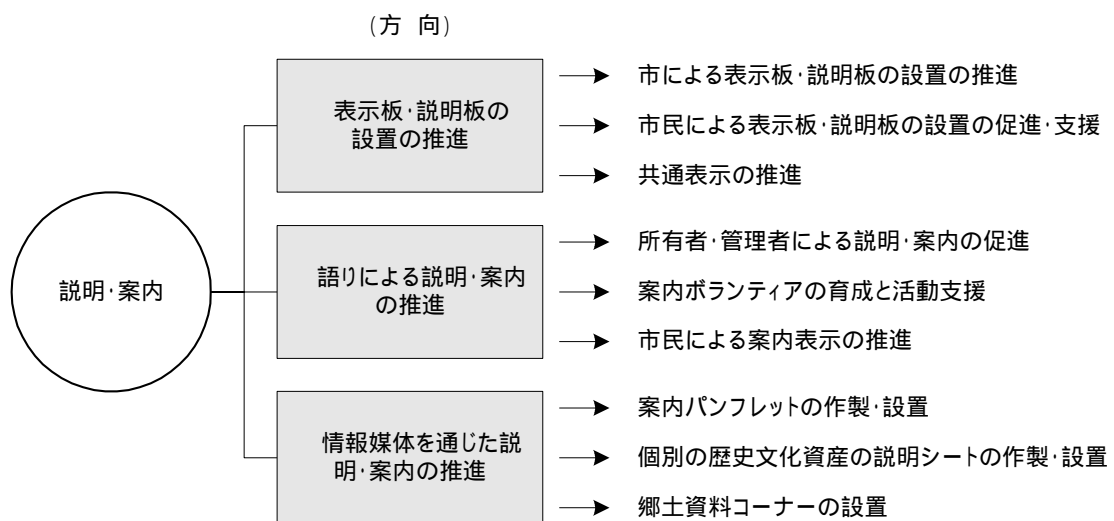
『東海道歴史文化回廊』を創出していくためには、より多くの市民や来訪者が「ストーリー」を通じて地域の歴史文化資産を知り、それらの保全・活用の重要性に気づく必要があります。そのため、市民や来訪者に、『東海道歴史文化回廊』について分かりやすい説明・案内を行っていくことが重要です。

本市では、歴史文化資産の説明・案内は、必要に応じて個別に標柱や説明板の設置、パンフレットの作成等を行ってきており、その設置基準やデザインは統一されていません。また、昭和の頃に設置された木製の標柱等については老朽化も進んでいます。そのため、改めてそれらの現状を点検・把握し、『東海道歴史文化回廊』の創出を契機として改善していく必要があります。

また、案内ボランティアの育成・支援を行っており、関宿では「関宿案内ボランティアの会」が来訪者の案内で活躍しています。今後も市民による説明・案内を活発化するとともに、特に『東海道歴史文化回廊』について全市をカバーする説明・案内ができるよう、育成・支援を充実していく必要があります。

《説明・案内の方針》

市民や来訪者が『東海道歴史文化回廊』の「ストーリー」や「ルート」、「ビューポイント」等を分かりやすく知ることができ、また地域の歴史文化資産への興味・関心を高め、その保全・活用の重要性に気づくことができるよう、次の3つの方向で市民や来訪者に対する説明・案内を進めます。



表示板・説明板の設置の推進

市による表示板・説明板の設置の推進

- ・ 「サテライト施設」など重要な歴史文化資産については、市が表示の状況を点検し、必要に応じて新しい標柱や説明板を設置します。

P 12 参照

- ・ 「重点ビューポイント」については、市が眺望点や眺望の内容を案内・説明する表示板・説明板を設置します。
- ・ 「ルート」の起点や結節点について、市民や来訪者に分かりやすいよう、必要最小限の案内板を設置します。

P 16 参照

市民による表示板・説明板の設置の促進・支援

- ・ 市が標柱や表示板、説明板等を設置しない「地域コア施設」や「ビューポイント」、歴史文化資産については、所有者や、自治会、コミュニティ等の地域団体、観光協会や商工会議所、産業関連団体等の各種組織・団体等による表示板・説明板の設置を促進・支援します。

共通表示の推進

- ・ 市が標柱や表示板、説明板等の整備を行う際には、その種類や特性をふまえつつ共通のデザインを行います。
- ・ 市民や地域団体、その他各種組織・団体が作製・設置する標柱や表示板、説明板等については、地域の特性や景観と調和させながら統一感を持たせることができるよう、整備基準を設定します。

語りによる説明・案内の推進

所有者・管理者による説明・案内の促進

- ・ 「サテライト施設」など重要な歴史文化資産については、所有者・管理者に対して、関連する「ストーリー」や「ルート」の説明・案内が可能となるよう、資料の提供等の支援を行います。

案内ボランティアの育成と活動支援

- ・ 案内ボランティアについて、「ストーリー」や「ルート」をふまえた歴史文化資産の説明・案内を促進できるよう、育成と活動支援を行います。
- ・ 案内ボランティアの活動拠点として、「地域コア施設」の活用を促進します。

P 11 参照

情報媒体を通じた説明・案内の推進

案内パンフレットの設置

- ・ 全ての「ストーリー」と「ルート」を掲載した『東海道歴史文化回廊』の総合案内や、「エリア施設」や「ビューポイント」を含めた各「ストーリー」、「ルート」の案内パンフレットを作製し、「地域コア施設」や観光関連施設など多くの人を訪れる場所に設置します。

P11 参照

個別の歴史文化資産の説明シートの設置

- ・ 「サテライト施設」など重要な歴史文化資産については、その内容を説明するシートを作製・設置します。
- ・ シートは、来訪者が「ルート」や歴史文化資産を回ることを楽しめるよう、収集できる形式にするなど工夫します。

郷土資料コーナーの設置

- ・ 様々な郷土資料を収集・保存し、その活用を進める拠点として、「テーマコア施設」及び「地域コア施設」内に、小規模な郷土資料コーナーの設置を促進します。

場面別の説明・案内のイメージ

	装 置	市民の関わり	情報媒体
(歴史文化資産)	サテライト施設 (ビューポイント)	・ 所有者等による説明 ・ パンフレットづくり (所有者や地域の人)	・ 個別の「説明シート」
(道順)	ルート	・ 案内人 案内ボランティア等 ・ 看板づくり	・ 案内パンフレット 「ストーリー」と「ルート」の案内
(活動拠点)	コア施設 (重点ビューポイント)	・ 看板づくり ・ パンフレットづくり (所有者や地域の人)	・ 小規模な郷土資料コーナー

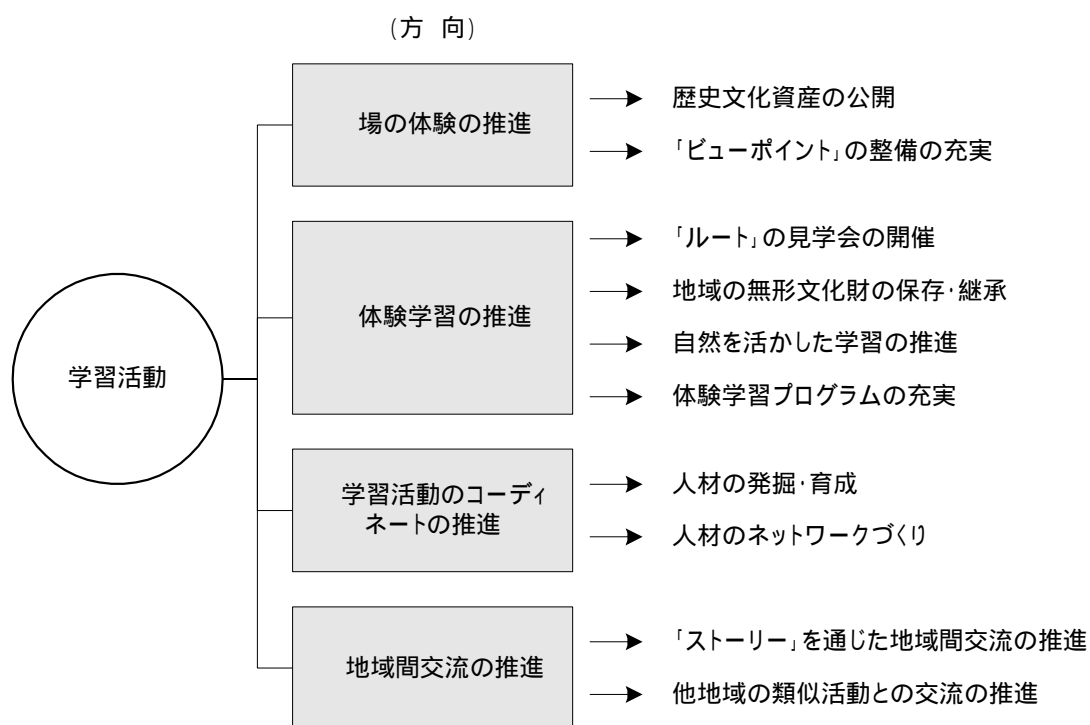
(2) 学習活動について

本市ではこれまで、生涯学習講座や亀山市歴史博物館の講座・展示などを通じて、地域の歴史・文化について学ぶ機会の提供を進めています。また、サークルや市民活動団体など、市民による自主的な歴史・文化に関する学習活動も展開されています。さらに、亀山城の多門櫓や二の丸帯曲輪周辺の整備など歴史文化資産の保全・整備や、関宿のまちなみや坂本棚田など歴史的・文化的景観の保全、地域の祭りや伝統芸能の保存・継承など、歴史文化資産を体感して学ぶ場づくりを進めています。

『東海道歴史文化回廊』を創出していくためには、市民が「ストーリー」や地域の歴史文化資産に興味・関心を持ち、認識を深めるなかで保全意識を高められるよう、学習活動の充実を図ることが重要です。そのため、市がより多くの学習機会を提供するとともに、市民の主体的な学習活動が活発に行われるよう、きっかけづくりや活動の場の提供、リーダーの育成等の支援を行っていく必要があります。

《学習活動の方針》

地域の歴史や文化に関する学習活動が活発に行われるよう、次の4つの方向で取り組みを進めます。



場の体験の推進

歴史文化資産の公開

- ・ 「サテライト施設」や指定文化財など地域の重要な歴史文化資産について、保全を進めつつ、市民や来訪者へ積極的に公開していきます。P 12 参照

「ビューポイント」の整備の充実

- ・ 眺望を通じて「ストーリー」や歴史文化資産を体感できるよう、「ビューポイント」及び「重点ビューポイント」の環境整備の充実に努めます。P 15, 16 参照

体験学習の推進

「ルート」の見学会の開催

- ・ 「ルート」を回り、説明を聞きながら「ストーリー」や歴史文化資産への理解を深められるよう、「ルート」の見学会を開催します。

地域の無形文化財の保存・継承

- ・ 地域の祭りや伝統芸能、伝統文化などを体感できるよう、無形文化財の保存・継承活動を支援します。
- ・ 地域の祭りや伝統芸能・伝統文化に関わる行事の開催時期や場所などの情報を発信します。

自然を活かした学習の推進

- ・ 自然環境の保全意識を高められるよう、環境学習・環境教育の充実を図ります。
- ・ 自然環境の保全・活用を進める団体の活動を支援します。

体験学習プログラムの充実

- ・ 生涯学習講座や子どもの課外活動等において、『東海道歴史文化回廊』の「ストーリー」や「ルート」を活用した体験学習プログラムの提供を進めます。

学習活動のコーディネート推進

人材の発掘・育成

- ・ 地域の歴史・文化に関する学習活動のリーダーとなる人材を発掘・育成します。

人材のネットワークづくり

- ・ 市民の学習活動を支援できるよう、人材バンクを活用し、「ストーリー」や地域の歴史・文化に関する知識を持つ人材の紹介・派遣を進めます。

地域間交流の推進

「ストーリー」を通じた地域間交流の推進

- ・ 「ストーリー」を通じて、関連する近隣市町村と連携した学習活動やイベントを行います。

他地域の類似活動との交流の推進

- ・ 他地域で類似の取り組みを行っている自治体や地域との交流活動を行います。

(3) 情報発信について

『東海道歴史文化回廊』の創出を進めるためには、市民や来訪者が『東海道歴史文化回廊』に関する情報をいつでも、どこでも、分かりやすく入手できる状況を作り出していく必要があります、様々なメディアを活用し、多角的な情報提供を進めていく必要があります。

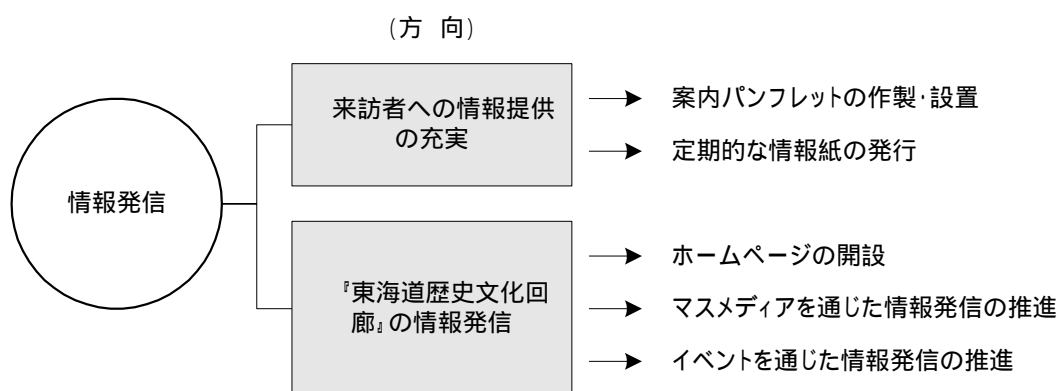
また、『東海道歴史文化回廊』の創出をより活発化するためには、集客数の増大や、市内外の連携・交流・協働を進めていく必要があります、『東海道歴史文化回廊』について市外へ積極的に情報発信していくことも重要です。

本市ではこれまで、地域の歴史文化資産に関する情報は、個別のパンフレットやホームページ等で提供・発信してきましたが、所有者や地域の考え方や状況で異なり、また、市の歴史・文化や関連する取り組みを包括した情報発信は充分には行えていません。

情報手段の多様化が進む中で、市民や来訪者が必要な情報を分かりやすく入手でき、また、市外へ広く情報発信できるよう、状況や目的に応じた適切な情報発信を進めていくことが重要です。

《情報発信の方針》

市民や来訪者が『東海道歴史文化回廊』に関する情報をいつでも、どこでも、分かりやすく入手でき、また市外へ『東海道歴史文化回廊』の取り組みをアピールできるよう、次の2つの方向で情報提供・発信を行います。



来訪者への情報提供の充実

案内パンフレットの作製・設置

- ・ 全ての「ストーリー」と「ルート」を掲載した『東海道歴史文化回廊』の総合案内や、「エリア施設」や「ビューポイント」を含めた各「ストーリー」、「ルート」の案内パンフレットを作製し、「地域コア施設」や観光関連施設など多くの人が訪れる場所に設置します。

P 19 参照

定期的な情報紙の発行

- ・ 『東海道歴史文化回廊』に関連する企画やイベント、取り組み等について紹介する情報紙を定期的に発行します。

『東海道歴史文化回廊』の情報発信

ホームページの開設

- ・ 『東海道歴史文化回廊』を紹介するホームページを開設し、『東海道歴史文化回廊』に関する様々な情報を収集・発信します。

マスメディアを通じた情報発信の推進

- ・ 新聞、タウン誌や旅行雑誌等の各種情報誌、インターネット、ケーブルテレビなど様々なマスメディアを活用し、『東海道歴史文化回廊』について広く情報発信します。

イベントを通じた情報発信の推進

- ・ 市内外の多くの人々が『東海道歴史文化回廊』を知り、来訪するきっかけとなるよう、全市的なイベントを定期的に開催します。

4. 景観形成への寄与について

歴史文化資産は全て単体で存在してきたものではなく、地域の歴史や文化、環境とともに一体的に守られてきたものであり、周辺環境と調和した景観として演出することで地域のまとまりや風情を醸し出し、見る人の心にその価値を訴えかけます。また、「ストーリー」をより理解しやすいものとするためにも、地域の歴史文化資産を景観として体感することは役立ちます。

歴史文化資産を「ルート」で‘点から線へ’とつなぎ、さらには「ビューポイント」などを通じて景観としての‘面へ’と展開させる『東海道歴史文化回廊』の創出を通じて、市民の景観に対する意識を高めるとともに、歴史文化資産の景観形成への活用が進むことが期待されます。

《景観形成への寄与に関する方針》

『東海道歴史文化回廊』を創出することで、地域の歴史文化資産の保全・活用を進め、市の景観の保全・形成へ寄与していくための方針を次のように定めます。

市民の景観に対する意識の高揚

- ・ 「ビューポイント」を設定し、その情報を広く提供することで、市民の景観に対する意識を高めるとともに、市民の主体的な景観の保全・形成を促進します。 P 14, 15 参照

「ビューポイント」の景観行政への活用

- ・ 「ビューポイント」及び「重点ビューポイント」を設定することで、歴史文化資産としての景観を分かりやすく位置づけ、市の景観行政に寄与します。 P 14, 15, 16 参照
- ・ 「重点ビューポイント」については、特に重要な景観として、市が積極的・優先的に景観の保全・形成を行います。 P 16 参照

5. まちづくりへの寄与について

『東海道歴史文化回廊』を設定しその創出を進めることは、市民が地域の歴史文化資産に気づき、その保全・活用に興味を持つきっかけを与えるとともに、その取り組みの過程において、市民や来訪者の連携・交流や、市民活動の活発化、様々な主体の連携・協働を生みだし、地域の活力や豊かさへとつながります。また、地域の歴史文化資産の保全・活用が進むことで、まちの個性や一体感を生み出します。

市の将来都市像である「豊かな自然・悠久の歴史・光ときめく亀山」を実現していくためにも、地域の自然や歴史、文化などの歴史文化資産を保全・活用していく『東海道歴史文化回廊』の取り組みは、重要なツールの一つであり、歴史文化資産の保全・活用を通じてまちづくりが進むことが期待されます。

《まちづくりへの寄与に関する方針》

『東海道歴史文化回廊』を創出することで、まちづくりへ寄与していくための方針を次のように定めます。

市民の地域の歴史文化資産への‘気づき’を高める

- ・ 『東海道歴史文化回廊』の創出を通じて、市民が地域の歴史文化資産の価値に気づき、保全・活用を進めていくきっかけを与えます。

連携・交流の促進

- ・ 『東海道歴史文化回廊』の創出を通じて、市民活動や地域活動を活発化し、市民や市民活動団体、地域団体、観光協会や文化団体、産業関連団体など各種団体・組織間の連携・交流を促進します。
- ・ 『東海道歴史文化回廊』に関する様々な企画やイベント、学習活動等を進めることで、世代や地域を超えた市民と来訪者との交流を促進します。
- ・ 「エリア施設」や「ビューポイント」を設定することで、連携・交流の拠点を創出します。

住みやすさの創出と郷土愛の醸成

- ・ 『東海道歴史文化回廊』の創出を通じて、市民の活動や交流、学びを促進し、市民が生き活きと活動し活躍できるまちづくりに寄与します。
- ・ 『東海道歴史文化回廊』を創出することで、まちの個性を生みだし、市民の郷土に対する愛着を高めます。

行政施策の向上

- ・ 『東海道歴史文化回廊』を通じて、関係する施策に一貫性を持たせます。
- ・ 『東海道歴史文化回廊』を通じた部署間の連携・協働を進めることにより、各施策の効果を高めます。

Ⅲ 『東海道歴史文化回廊』の具体例の検討

1. 『東海道歴史文化回廊』の「ストーリー」の設定

『東海道歴史文化回廊』として設定する 20 の「ストーリー」について、次ページ以降でそのあらすじと「ルート」の概要を紹介します。

より具体的な検討内容は、参考資料（49 ページ）に掲載しています。

「ストーリー」一覧

名 称	広域性	地域性	時代性	キーワード
伊勢亀山城をゆく				城下町・城郭・大名家
秀吉が来た！				古戦場・戦国武将・城跡
ヤマトタケルを偲ぶ				神話・古事記・日本書紀
古代王権の道				鈴鹿関・古代東海道
関氏一族の盛衰				戦国武将・城跡
志賀直哉が見た亀山				文学・景観
街道をゆく				東海道・大和街道・伊勢別街道
亀山の近代化と鉄道遺産にふれる				鉄道
延喜式内社を巡る				古代史・神社
街道町家巡り				古建築・宿場
寺院巡り（鈴鹿郡八十八箇所）				信仰・寺院
亀山の化石博士になろう				自然史・地質
浮世絵・名所図会・紀行文を片手にたどる旅				街道・文学・美術史
伝承・伝記の地に行く（東海道編）				文学・民間伝承
ほっと一息 ～亀山のマイナスイオンを旅する（植物編）～				自然環境
まほろばのみち				古典文学・和歌
亀山の歳時記				民俗芸能
亀山仇討ストーリー				文学・演劇・伝承
音吉道標を巡る				交通史・道路網
平安の仏像				美術工芸史・信 仰

伊勢亀山城をゆく

<p>あらすじ</p>	<p>亀山城跡を、今残っているもの、今残っているもの、城の内側からと外側からの眺望、人物や建物などのエピソードの3つの視点から巡り、「城とはなんぞや」を体感します。同時に、エリアとしての宿場や城下へリンクし、また、他のストーリーへの導入の起点となります。</p>
<p>ルートの概要</p>	<p>亀山城跡を巡る5つのルートを設定します。</p> <p>遺跡コース(短) エピソード殿様コース 遺跡コース(長) エピソードご家老コース 眺望コース</p> <p>関連する歴史文化資産 多門櫓、二の丸帯曲輪・埋門、西出丸空堀跡、西出丸土居、加藤家屋敷跡、石井兄弟敵討碑、牛尾家土塀、太鼓櫓跡、大手門跡、青木門跡、黒門跡、お城見庭園、亀山八幡神社、亀山公園(北) など</p> <p>主なエリア施設 多門櫓、帯曲輪・埋門、加藤家屋敷跡</p> <p>主なビューポイント 牛尾家土塀、お城見庭園、西出丸土居</p> <div data-bbox="1075 510 1406 943" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">二の丸埋門</p>

秀吉が来た！

<p>あらすじ</p>	<p>天正10年(1582)本能寺の変による信長没後その後継を争う戦が繰り広げられ、やがてこの戦を勝利した秀吉が天下を統一します。</p> <p>亀山城と峯城はこの戦の中で秀吉によって攻められましたが、ここでは特に天正11年(1583)の峯城攻めに注目し、城を攻めた秀吉側の視点と、城を守った峯城側の視点にたって関連する城跡や寺院、伝承などをたどります。</p>
<p>ルートの概要</p>	<p>関連する歴史文化資産 石水溪、石水溪野外研修施設、太閤腰掛岩、坂本棚田・坂本農村公園、逆川、野元坂館跡、落山城跡、古城跡、山尾氏館跡、青館跡、大久保城跡、山本城跡、小岐須城跡、野登郵便局、川崎郵便局、吉尾道場 など</p> <p>主なエリア施設 峯城駐車場、石水溪野外研修施設、野登地区コミュニティセンター、川崎地区コミュニティセンター、不動院</p> <p>主なビューポイント 安楽峠、石水溪、野登山、坂本農村公園、不動院、八島橋のたもと</p> <div data-bbox="387 1753 1385 1977" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">八島橋のたもとからの眺望</p>

ヤマトタケルを偲ぶ	
あらすじ	<p>古代日本の国家成立の過程を反映して成立したとみられる、ヤマトタケルの説話を、この地域の歴史を象徴するものとして起点的にとりあげ、他のルート、歴史回廊自体のエントランスとします。</p>
ルートの概要	<p>定点的なものであるため、ルートは設定しません。実在の史話ではないことから、さまざまなルートや地域へ移動する際の起点となります。</p> <p>関連する歴史文化資産 能褒野王塚古墳、のぼの自然の森、忍山神社、歴史博物館、能褒野神社、加佐登神社（鈴鹿市白鳥塚）武備塚古墳（鈴鹿市長瀬神社）、双児塚古墳（鈴鹿市） など</p> <p>主なエリア施設 のぼの自然の森、歴史博物館、忍山神社</p> <p>主なビューポイント 王塚からの眺望</p>  <p style="text-align: center;">日本武尊能褒野墓</p>

古代王権の道	
あらすじ	<p>東海道・大和街道・伊勢別街道・巡見道が交差する亀山市は、有史以来交通の要衝となってきました。古代には律令三関の一つである「鈴鹿関」が設置され、加太越えは古代最大の内乱である「壬申の乱」の舞台ともなっています。</p> <p>地域には、古代東海道や現東海道を想定させる遺跡が点在しており、それらを巡ることで東海道と鈴鹿関を舞台とした歴史を体感します。</p>
ルートの概要	<p>関連する歴史文化資産 大和街道（梶ヶ坂）、笹ヶ平古墳、新道岩陰遺跡、大和街道（新所）、観音沖遺跡、西追分、鈴鹿関跡ガイダンス施設、鈴鹿関跡、獅岩、行者岩、赤坂頓宮跡、鈴鹿駅家跡、古厩遺跡、切山瓦窯跡</p> <p>主なエリア施設 鈴鹿関ガイダンス施設、古厩公民館</p> <p>主なビューポイント 獅岩、行者岩</p>  <p style="text-align: center;">鈴鹿関跡西城壁</p>

関氏一族の盛衰

<p>あらすじ</p>	<p>中世を通じて旧鈴鹿郡に蟠踞した関氏一族。この関氏の発祥から、宗家の関氏から独立して関五家と呼ばれるようになり、やがて織豊政権に収斂され滅亡するまでの過程を、各地に残された城跡やゆかりのある資料を通じてたどります。</p>
<p>ルートの概要</p>	<p>関・峯・加太・神戸・国府の各氏とその被官の城跡を「城のネットワーク」という視点で捉えます。</p> <p>関氏の盛衰というルート 関氏の発祥 関五家の城 関氏の滅亡</p> <p>関五家の各領域を周るルート 亀山城周辺、峯城周辺、鹿伏兎城周辺、国府城周辺、神戸城周辺</p> <p>関連する歴史文化資産 久覚廃寺、関実忠館跡、亀山古城（若山城）、高飛館跡、秀吉本陣跡、住山砦、白木城跡、小野城跡、峯城跡、野元坂館跡、落山城跡、古城跡、青館跡、山尾氏館跡、鹿伏兎城跡、神福寺、大和街道、加太金場、市場遺跡、笹ヶ平古墳、正法寺山荘跡、羽黒山、宗長日記、国府城、神戸城 など</p> <p>主なエリア施設 歴史博物館、峯城駐車場、神福寺、正法寺山荘跡</p>

志賀直哉が見た亀山

<p>あらすじ</p>	<p>わが国における私小説のスタイルを確立し、近代文学史において「小説の神様」と賞された志賀直哉。その唯一の長編小説である『暗夜行路』において主人公の心情が大きく展開するシーンは、主人公が亀山のまちを散策する情景とともに描かれています。その描写は現在にいたっても具体的な情景として実感することができ、このシーンを追体験することで、城・城下・宿それぞれの歴史的背景を一体のものとしてつなげていきます。</p>
<p>ルートの概要</p>	<p>ルートは駅を起点として宿から城下、そして城本体を第三者的に縦断しており、亀山城・亀山城下・亀山宿それぞれのストーリーを時間軸を超越してつなぐことのできる媒体的なストーリーです。</p> <p>関連する歴史文化資産 亀山駅、亀山神社、亀山公園、亀山城跡、志賀直哉生母生家跡 など</p> <p>主なビューポイント 亀山公園北から公園池</p>

街道をゆく

<p>あらすじ</p>	<p>歴史回廊の各ルートの基本となる、東海道・大和街道・伊勢別街道・巡見道を実際に踏破してゆく中から、さまざまなストーリーの位置関係やつながりを掌握します。</p>
<p>ルートの概要</p>	<p>それぞれの道自体は地理的に固定されているものの、重複したストーリーが存在します。 基軸となる道から派生するストーリーをもつ安楽越、金王道や津道も包括します。</p> <p>関連する歴史文化資産 東海道、大和街道、伊勢別街道、 巡見道、安楽越、金王道、津道</p> <div data-bbox="884 640 1385 1008" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="963 1016 1318 1048">復元された高札場（東海道関宿）</p>

亀山の近代化と鉄道遺産にふれる

<p>あらすじ</p>	<p>明治 23 年に関西鉄道が開通して 100 年以上が経過していますが、現存し、また使われ続けている当時のレンガ造の建造物を大和街道の峠道を歩きながら見学します。</p>
<p>ルートの概要</p>	<p>定番撮影ポイント（いわゆる「ホンカブト」「ウラカブト」等）では、自然景観と鉄道の撮影を体験できます。</p> <p>関連する歴史文化資産 市場川洪渠、第 165 号架道橋 など</p> <p>主なエリア施設 加太駅</p> <p>主なビューポイント 加太川の景観</p> <div data-bbox="911 1525 1410 1892" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1107 1906 1206 1937">坊谷隧道</p>

延喜式内社を巡る

<p>あらすじ</p>	<p>市内随所に点在している、古代から存続している（と考えられる）式内社を訪ねて、古より市域の各所で営まれてきた歴史を体感します。</p> <p>延喜式は927（延長5）年に完成しており、神名帳に記載のある神社は、この時点で既に有力な神社として存在していたと思われ、現在まで存続していれば、それだけ歴史のある神社といえます。</p>
<p>ルートの概要</p>	<p>関連する歴史文化資産</p> <p>川俣神社、布気神社、忍山神社、片山神社、弥牟居神社、那久志里神社、眞木尾神社、縣主神社志波加支神社長瀬神社</p> <p>主なエリア施設</p> <p>川俣神社、布気神社、忍山神社、片山神社、弥牟居神社のぼの神社</p> <div data-bbox="895 622 1394 992" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">片山神社</p>

街道町家巡り

<p>あらすじ</p>	<p>東海道・大和街道・伊勢別か移動それぞれの街道沿いには歴史的建造物と町家建築が点在しており、これらを巡ることで、各街道・各宿場の町家の特徴や、その発展過程や相互の関係を学びます。</p> <p>旧館家住宅、旅籠玉屋など公開されている建造物では、その間取りや内部空間についての理解を進め、町家の生活文化や人々の知恵を知ります。また、関宿には町家が集中することから、町家の生活環境の維持に関わるシステムや、関宿の保存がどのように進められているかを知ります。</p>
<p>ルートの概要</p>	<p>亀山 野村の町並み 関 坂下 加太の町並み、古厩の町並み</p> <p>関連する歴史文化資産</p> <p>東海道亀山宿・野村・関宿・市ノ瀬・沓掛・坂下宿、大和街道加太、伊勢別街道古厩の町並み など</p> <p>主なエリア施設</p> <p>旧館家住宅、いっぷく亭木崎、関まちなみ資料館、旅籠玉屋、西の追分休憩施設、鈴鹿馬子唄会館</p> <p>主なビューポイント</p> <p>眺関亭（百六里亭）からの景観</p> <div data-bbox="919 1592 1402 1951" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">旧館家住宅</p>

寺院巡り（鈴鹿郡八十八箇所）	
あらすじ	<p>身近な寺院を巡ることにより、地域の魅力の再発見を促します。</p> <p>寺院は、かつて庶民にとって信仰の対象であるとともに、札所巡りのように身近な旅としての位置づけもありました。</p>
ルートの概要	<p>関連する歴史文化資産</p> <p>長賢寺、高しん寺、正覚禅寺、蓮光寺、栄仙寺、善徳寺、福満寺、西念寺、正念寺、弘善寺、端光寺、福蔵寺、地藏院、聴川寺、福蔵寺、龍淵寺、天祥寺、浄専寺、常光寺、神福寺、法安寺、真善寺、慈恩寺、心光寺、宗英寺、梅厳寺、善導寺、遍照寺、浄源寺、正覚寺、福善寺、石上寺、正福寺、仏性院、海善寺、地福寺、福寿院、光明寺、長明寺、清浄寺、光照寺、法蔵寺、太厳寺、円福寺、大善寺、国分寺、万寿寺、不動院、西生寺、長善寺、一心院、宝昌寺、慈眼寺、宗徳寺、千蔵寺、永源寺、野登寺、安楽寺、地藏院（※他は鈴鹿市内）</p> <p>主なエリア施設</p> <p>慈恩寺、地藏院</p> <p>主なビューポイント</p> <p>野登寺</p> <div data-bbox="927 647 1417 1010" data-label="Image"> </div> <p>住職のお話を聞く</p>

亀山の化石博士になろう	
あらすじ	<p>市内では、中の川流域（楠平尾町）と椋川流域（野村町～住山町）からステゴドンの化石が発見されています。また文献を見ると、現在ではほとんど見ることができない種類のタニシの化石が楠平尾町で発見されています。これらの発見場所を訪れて、化石の採掘や地層の観察などの体験学習を行い、亀山市の遠い昔の自然環境を学びます。</p> <p>興味が持ちやすい化石を導入として、自然地形の観察や自分たちを取り巻く環境の変化を学び、現代人が抱える環境問題へ取り組むスタートとします。</p>
ルートの概要	<p>化石が採取されるポイントに、市内の特徴的な地形（逆川、鈴鹿山鏡岩、野登山ブナ林）を組み合わせたルートです。</p> <p>関連する歴史文化資産</p> <p>野村町、富士山、住山町、椋川左岸、羽黒山、楠平尾、三重県立博物館</p> <p>主なエリア施設</p> <p>特になし</p> <p>主なビューポイント</p> <p>野登寺</p>

浮世絵・名所図絵・紀行文を片手にたどる旅

<p>あらすじ</p>	<p>東海道が横断した当市は、江戸時代に描かれた浮世絵、紀行文などでたびたび表現されています。旅の途上で旅人がどのように亀山を見たのかは、亀山を理解する上で大きなヒントとなります。</p> <p>この絵や紀行文に描かれた地点を巡り、往時の面影を偲ぶとともに、町の移り変わりを体験します。</p>
<p>ルートの概要</p>	<p>亀山歴史博物館 亀山 かめやま美術館 関 鈴鹿馬子唄会館 坂下</p> <p>関連する歴史文化資産 浮世絵、名所図会、紀行文、多門櫓、京口門跡、旅籠玉屋、伊藤・川北本陣跡、関地藏院、筆捨山、弁天一里塚、岩屋観音、片山神社、鈴鹿峠 など</p> <p>主なエリア施設 亀山市歴史博物館、かめやま美術館、関宿旅籠玉屋歴史資料館、(仮)関宿スケッチ美術館、鈴鹿馬子唄会館</p> <p>主なビューポイント 筆捨山の眺望、お城見庭園、鏡岩からの峠道の眺望</p>

伝承・伝記の地に行く（東海道編）


<p>あらすじ</p>	<p>今に伝わる先人たちの話を、時代を超えて現地に今なお残るモノ・風景と対話することで感じることができます。</p> <p>市内に多数残されている、先人達の知恵や豊かな心が今なお感じ取れる場所を訪ねることにより、歴史や文化などに触れることができます。</p>
<p>ルートの概要</p>	<p>関連する歴史文化資産 鈴鹿山の鏡岩、片山神社、正調鈴鹿馬子唄、筆捨山、ころび石、地藏院、権現柿（瑞光寺）、昼寝観音（落針観音庵） など</p> <p>主なエリア施設 片山神社、正調鈴鹿馬子唄会館、地藏院、福蔵寺</p> <p>主なビューポイント 鈴鹿山の鏡岩、筆捨山、池の側</p>

ほっと一息 ～ 亀山のマイナスイオンを旅する（植物編）～

<p>あらすじ</p>	<p>市内では、身近に四季を通して感じられる自然があります。その移り変わりを体感することで、「くらす」ことの楽しさを享受します。</p>
<p>ルートの概要</p>	<p>他の歴史文化資産との連動により歴史文化回廊の奥行きを醸成します。</p> <p>関連する歴史文化資産</p> <p>春：野登山、御所平、坂本棚田、坂本農村公園、西野公園、多門櫓周辺、太厳寺、中の山パイロット、亀山公園、観音公園</p> <p>夏：坂本棚田、高山観音公園</p> <p>秋：亀山公園、太田・三寺、宗英寺、野村一里塚、国見広場、川崎町</p>

まほろばのみち

<p>あらすじ</p>	<p>旧鈴鹿郡域には、文学、特に和歌の題材として取り上げられた旧跡などが数多くあり、これらをたどることで亀山の魅力を再発見します。</p> <p>催馬楽から始まり、万葉集、古今和歌集、源氏物語、宗長日記さらには近世の紀行文にいたる文学上に登場する旧跡などは、外からみたこの地域のイメージを表現しており、そこから地域特性の本質を抽出することも可能と言えます。また、古典として今日まで愛されてきた作品とその題材に接することで、新しい創造意欲を喚起する場となることを期待します。</p>
<p>ルートの概要</p>	<p>これ自体がストーリーを持つのではなく、宿場や街道、古代の道にかかるストーリーを補完するルートです。</p> <p>関連する歴史文化資産</p> <p>鈴鹿山、鈴鹿川、湯津盤森、正法寺山荘跡、蝦夷桜、鈴鹿関、不断桜、大岡寺縄手能古茶屋、筆捨山、能褒野墓、式部井戸、琴橋、都々美井、亀山城、鈴鹿馬子唄、石井兄弟敵討碑 など</p> <p>主なエリア施設</p> <p>正法寺山荘跡、のぼのの森</p> <p>主なビューポイント</p> <p>筆捨山、鈴鹿川、鈴鹿峠、亀山城跡</p>

亀山の歳時記	
あらすじ	<p>亀山へは「何月何日何時にここへ行ったらええで」という情報をカレンダーにします。伝統的な民俗芸能から地区の盆踊り、きれいな花や美しい夜景、自分だけしか知らない秘密の場所など亀山の様々なジャンルの「ええ所」を紹介します。</p>
ルートの概要	<p>歳時記のストーリーだけでルートを設定することはできません。他のストーリーを周る際のオプションコースとして利用します。</p> <p>関連する歴史文化資産 市内の歳時記全般</p> <p>主なエリア施設 各地区のコミュニティセンター</p> <p>主なビューポイント 「私だけしか知らないマイベストスポット」などとして募集</p> <div style="text-align: right;">  <p>阿野田かんこおどり</p> </div>

亀山仇討ストーリー	
あらすじ	<p>亀山市には、石井兄弟と関の小万の二つの仇討話が伝わっています。2つのストーリーにまつわる遺跡を追いながら、芝居や浮世絵の題材としても喧伝された物語を体感します。</p> <p>「史実」よりも近世において喧伝され、亀山の名を知らしめたストーリーであることがポイントです。敵討ちが広く世に受け入れられたことは近世社会の一端を示すものといえます。</p>
ルートの概要	<p>2つの仇討ストーリーでルートを設定します。</p> <p>石井兄弟コース 亀山八幡神社 大手門跡 太鼓門跡 石坂門跡 黒門跡 京口門跡 照光寺</p> <p>関の小万コース 福蔵寺 山田屋跡（会津屋） 玉屋歴史資料館 小万もたれ松 亀山演武場</p> <p>関連する歴史文化資産 亀山八幡神社、石井兄弟敵討碑、照光寺、福蔵寺、山田屋跡（会津屋）、小万もたれ松、亀山市歴史博物館</p> <p>主なエリア施設 亀山市歴史博物館</p> <p>主なビューポイント 石井兄弟敵討碑</p>

音吉道標を巡る

<p>あらすじ</p>	<p>亀山市域には、大正3年頃に田中音吉氏の寄贈された多数の石製道標が存在します。この道標は徒歩を主体とした近代以前の道路網を反映させたものです。道標に記されたコースをたどることで東海道などの主要街道からそれぞれの地域にどのように行き来していたのかを体感します。</p> <p>東海道を起点として、さまざまな地域へのルート其道標の示すかつての人のびとが往来した古い道路網をたどり、歩いて移動するとはどのようなものなのかを体感します。</p>
<p>ルートの概要</p>	<p>市民による地道な調査活動により体系化された道標を、ルート図をもとに古い道路網を歩くことで巡ります。</p> <p>関連する歴史文化資産 田中音吉道標 (市域を中心に87基が確認されています。)</p> <div data-bbox="928 629 1414 987" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">田中音吉道標</p>

平安の仏像

<p>あらすじ</p>	<p>亀山市には、わが国の平安初期彫刻の代表作品である慈恩寺阿弥陀如来立像が所在します。慈恩寺阿弥陀如来立像を含めた特徴的な平安仏を巡り、信仰によって1,000年もの長きにわたり人々によって守られてきた仏の姿を実体視します。</p> <p>古代から中世にかけて爆発的に寺院や仏像造立が展開した事跡が見て取れ、この時期と各集落の萌芽的段階とが一致しています。このことから、平安期の古仏の大半は地域開発と同調している可能性がうかがえます。</p>
<p>ルートの概要</p>	<p>関連する歴史文化資産 慈恩寺、遍照寺、不動院、円福寺、神福寺（善光寺）、大善寺、東光寺、長明寺、宗徳寺三重層塔、法蔵寺、光照寺、福泉寺、一心院、正覚寺、誓昌院</p> <p>主なエリア施設 亀山市歴史博物館</p> <div data-bbox="1061 1480 1377 1955" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">慈恩寺 木造阿弥陀如来立像</p>

2. 「ストーリー」の提供イメージ

「ストーリー」を市民や来訪者に提供していくための方法は、平成 19 年度以降に検討を進めますが、ここでは「①伊勢亀山城をゆく」、「②秀吉が来た！」の2つの「ストーリー」をモデルとして取り上げ、その方向性を具体的にイメージします。

(1) 「伊勢亀山城をゆく」の提供イメージ

「エリア施設(コア施設)」の活用イメージ

加藤家屋敷跡 : 総合的な整備活用計画を策定した上で拠点化を推進。

「ビューポイント」の活用イメージ

牛尾家土堀 : 帯曲輪から三重櫓跡、堀を眺める眺望点の確保。城下時代の道の保全。

お城見庭園 : 本丸方向、東海道からの亀山城の眺望。周辺の景観的整備(街路燈・橋脚)。

西出丸土居 : 堀からの城を見上げる眺望。高低差の実感できる。植生管理と説明板の整備。

「ストーリー」の提供イメージ

- ・ 比較的説明板も設置されており最も提示しやすいコースのため、さまざまなジャンルと連動させる。
- ・ 市民や来訪者向けの「コースマップ」を作成する。
- ・ 住民の参加意識を高めるイベントや学習会を開催する。
- ・ 他のストーリーと組み合わせた学習活動や交流を展開する。
- ・ 多聞櫓などの常時公開。
- ・ 案内人などの活動の場を確保する。

その他

- ・ 城跡の範囲を見定めた史跡指定を行う。



二の丸帯曲輪の案内

(2)「秀吉が来た！」の提供イメージ

「エリア施設(コア施設)」の活用イメージ

石水溪野外研修施設 : 峠道を散策する際の拠点。石水溪の自然美を生かした峠道の散策コースの整備。「自然」を前面に演出。

野登地区コミュニティセンター : 野登山・上野登寺を登山する際の拠点として活用。上級登山コースの整備。「信仰」を前面に演出。

野登郵便局 : 石水溪と野登山の案内施設としての活用。

不動院 : 秀吉伝承と関わりのある仏像の常時展示。(ケースで常に見られるように)。野元坂館跡など周辺の中世城館のパネル展示。

峯城駐車場 : 総合ガイダンス施設として、城内に個別遺構の説明看板を設置。鈴鹿市の関連城跡へも足を運ぶような演出。

川崎地区コミュニティセンター : ルートから少し外れるため、峯城に特化せず「川崎の歴史」という中で取り上げて活用。

川崎郵便局 : 古城跡見学の際の拠点として活用。



石水溪野外研修施設



野登地区コミュニティセンター内の展示

「ビューポイント」の活用イメージ

安楽峠 : 峠の散策コースの整備。

石水溪 : 観光スポットとしての整備。

野登山 : 市域全体の眺望。野登山登山コースの整備。

坂本農村公園 : 棚田の景観。

不動院 : 展示施設の整備。

八島橋のたもと : パノラマ写真の看板の設置。

「ストーリー」の提供イメージ

- ・ 秀吉が安楽峠を越えて攻めてきたルートを時系列に追う。
- ・ 秀吉と地元勢力の攻防を、秀吉の視点と地元勢力の視点から検証する。
- ・ 伝承・伝説を織り交ぜることで内容豊かなものにしていく。
- ・ すばらしい自然環境を散策コースに取り込む。
- ・ 関心が深まれば、「関氏の盛衰」や「亀山城」のストーリーへ展開させる。
- ・ 城跡の個別遺構を読み解くツアーを開催する。
- ・ 他市の関連城跡を含めた広域のツアー（鈴鹿市、四日市市）を開催する。
- ・ 古文書を解説する。

その他

- ・ 城跡の場所が分かりづらいので案内標識を設置する。
- ・ 冬季の城跡散策の安全確保を行う。
- ・ 城跡が民地の場合の事前に立ち入り許可を円滑に行う。
- ・ 史跡の環境維持に地域住民等の協力を求める。



峯城体験ツアー



体験ツアーにおける実演（野元坂館跡）

IV 『東海道歴史文化回廊』の創出にあたって

1. 計画策定のプロセスについて

(1) 基本計画の策定

『東海道歴史文化回廊』の取り組みを推進するために、本方針の策定に引き続き、平成19年度において『東海道歴史文化回廊』保存整備基本計画』を策定します。

基本計画は、本方針に基づいた取り組みを実施するにあたっての具体的な計画をまとめるものであり、そのために次の項目に基づいた計画策定作業を行うものとします。

基礎調査

- ◆ 関連事業等の調査
- ◆ 各ストーリーを具体化するために必要な情報の整理

現地調査

- ◆ 各ストーリーに基づくルート、エリア施設、ビューポイント等の設定をより具体化するために必要な現地調査

住民、団体等の意向把握

- ◆ 『東海道歴史文化回廊』の創出に関する方針』に基づいた住民や関係する団体等に対する意向把握

各ストーリーの具体的な計画の作成

- ◆ 各ストーリーにおいて提供する内容の精査
- ◆ 各ストーリーに基づいた具体ルートの設定
- ◆ 各ストーリーとルートに応じたエリア施設、ビューポイントの設定と各施設・ポイントの位置づけ
- ◆ 各ストーリーの提供のための活動等の方針

推進手順の検討

- ◆ 『東海道歴史文化回廊』の取り組みを推進するために、まちなみ・文化財室が取り組む具体的な手順

他計画及び関係部署との調整

- ◆ 取り組みに関係する他の計画や関係部署との調整

(2)パンフレットの作成

基本計画の内容に基づき、そこで明確にされた全ての「ストーリー」、「ルート」、「ビューポイント」等を掲載したパンフレットを作成し、『東海道歴史文化回廊』を市民や来訪者等に広く普及を図るとともに、実際にできるところから活動をはじめます。

(3)実施計画の作成

基本計画に基づいて、推進手順に示された流れを実際の施策・事業として構築して、実施年度等を明らかにした「実施計画」を作成し、計画的かつ効果的に事業を推進します。

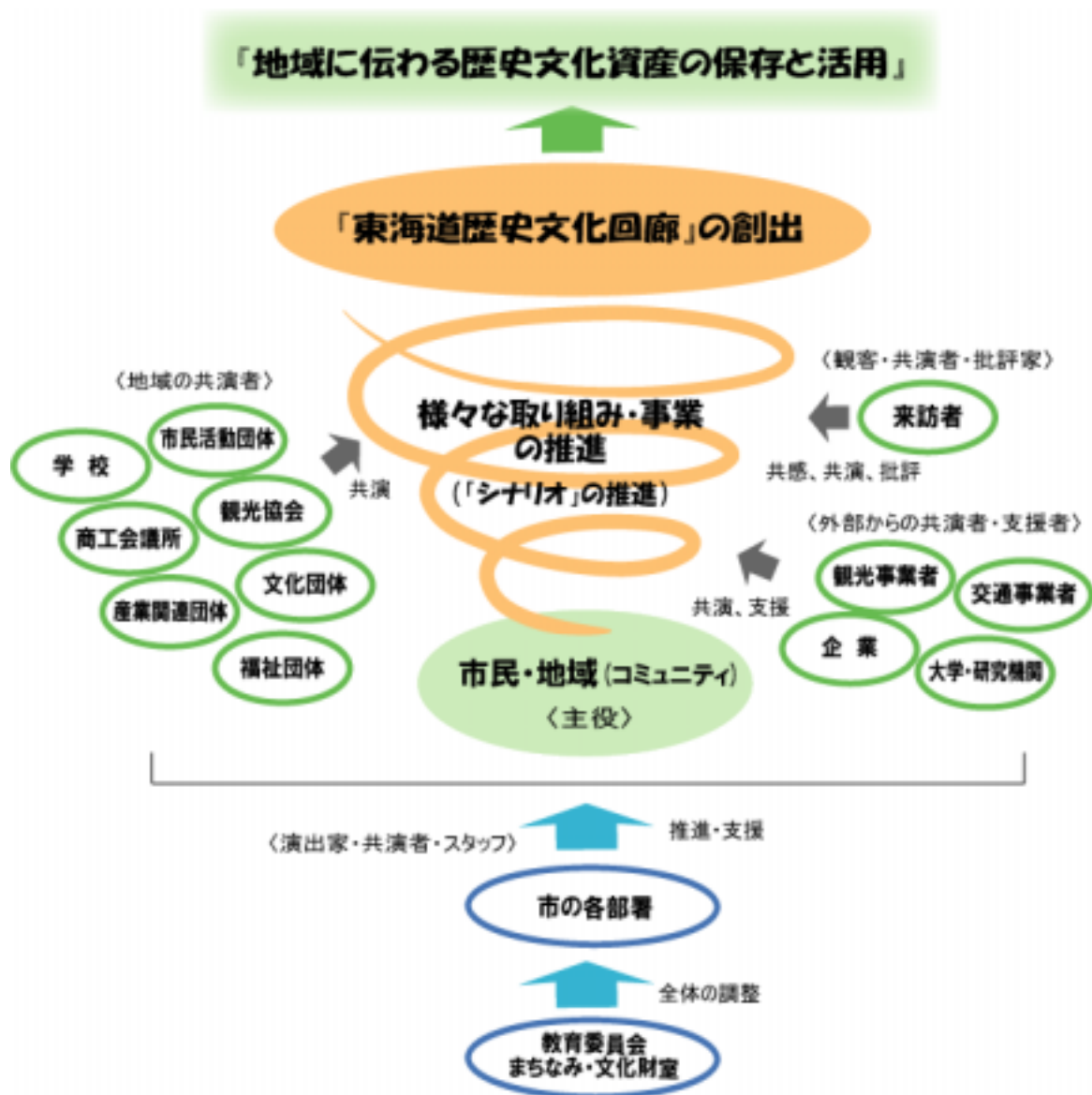
2. 取り組みの体制について

『東海道歴史文化回廊』の創出にあたっては、様々な分野で事業を展開するため、教育委員会まちなみ・文化財室が中心となり、関連する事業全体を把握し、部署間・事業間での調整と連携・協働を図ります。

市民や地域の各種組織・団体に対しては、各部署で相談・支援を行うとともに、教育委員会まちなみ・文化財室が総合窓口の役割を担います。

また、将来的には『東海道歴史文化回廊』の創出に積極的に関わる市民の会を組織し、連携・協働の推進をめざします。

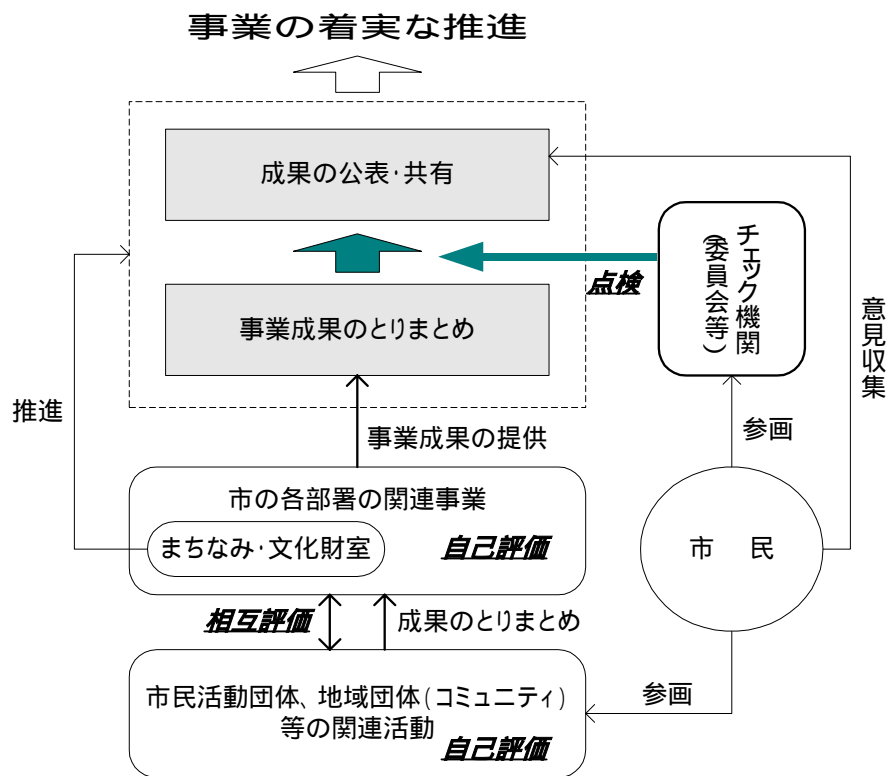
【『東海道歴史文化回廊』に関する取り組み・事業の推進イメージ】



3. 取り組みの評価・点検について

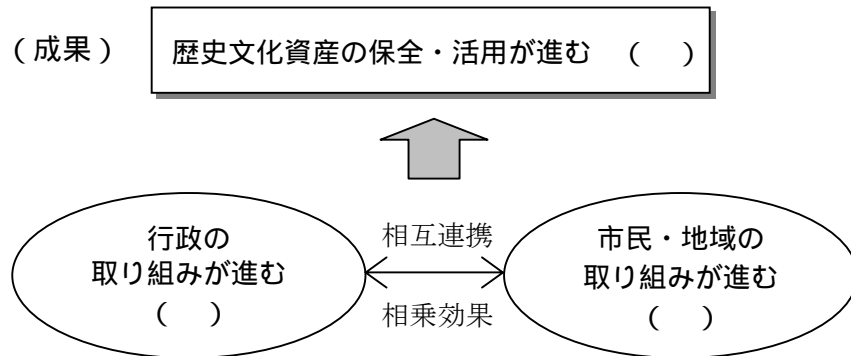
『東海道歴史文化回廊』の創出は、市の各部署と市民・地域がそれぞれの取り組みを連携・協働して進めるものです。そのため、それぞれの取り組みや事業の調整を図りつつ着実に推進できるよう、定期的に評価・点検していく体制を構築します。

具体的には、取り組みや事業について各部署や市民活動団体、地域団体等が自己評価・相互評価を行い、教育委員会まちなみ・文化財室が中心となって取りまとめ、市民が参画するチェック機関（委員会等）で点検した後、市民に広く公表・共有し意見を反映していきます。



また、取り組みや事業の評価を、カテゴリ別に次のような評価基準で行います。

【評価基準のカテゴリ】



【評価基準(案)】

行政の取り組みに関する評価

- (設定) ・創出に向けて取り組まれている「ストーリー」の数
・案内パンフレットの設置箇所数
- (整備) ・歴史文化資産の表示板の設置箇所数
・「ルート」上の表示板の設置箇所数
・沿道整備・景観形成の実施数
- (情報発信) ・『東海道歴史文化回廊』に関する情報紙の発行頻度
・『東海道歴史文化回廊』に関するホームページのアクセス数

市民・地域の取り組みに関する評価

- ・「地域コア施設」の利用団体数、自主運営されている数
- ・「地域コア施設」への郷土資料コーナーの設置数
- ・歴史文化資産を説明する「シート」の設置箇所数
- ・案内ボランティアの登録者数
- ・各種見学会・イベント・体験学習の参加者数
- ・無形文化財保存会の数
- ・人材バンクへの登録者数(関連する人材のみ)

歴史文化資産の保全・活用に関する評価

- ・市民の『東海道歴史文化回廊』に関する認知度
- ・市民・地域が保全に関わっている「サテライト施設」の数
- ・市民・地域が保全や景観形成に関わっている「ビューポイント」及び「重点ビューポイント」の数

参 考 资 料

1. 各ルートの検討内容

伊勢亀山城をゆく

ストーリーの概要

趣 旨	亀山城跡を、今残っているもの、人物や建物などのエピソード、城の内側からと外側からの眺望の3つの視点から巡り、「城とはなんぞや」を体感する。同時に、エリアとしての宿場や城下へリンクし、また、他のストーリーへの導入の起点となる。	
特徴と背景	中世から近世、さらに近代化遺産としての城。	
関連する資源	名 称	概 要
	多門櫓	亀山城のシンボル、近世さらには近代化遺産、眺望ゾーン
	二の丸帯曲輪・埋門	体感ゾーン・眺望ゾーン
	西出丸空堀跡	遺跡、体感ゾーン
	西出丸土居	遺跡、体感ゾーン、眺望ゾーン
	加藤家屋敷跡	「城下」の中核、城の中心部と町屋エリアとの接続点
	石井兄弟敵討碑	城にまつわるエピソード
	牛尾家土堀	城にまつわるエピソード、眺望ゾーン
	太鼓櫓跡	遺跡
	大手門跡	遺跡（東三の丸土居を含む）
	青木門跡	城にまつわるエピソード
	黒門跡	遺跡
	お城見庭園	眺望ゾーン
	亀山八幡神社	城にまつわるエピソード
亀山公園（北）	城にまつわるエピソード	
ルート略図	<p>遺跡コース（短） 多門櫓 櫓台跡 西出丸空堀跡 西出丸土居 二の丸土居 東三の丸土居 太鼓櫓跡 二の丸帯曲輪・埋門 多門櫓</p> <p>遺跡コース（長） 多門櫓 石坂門跡 二の丸御殿遺構（遍照寺） お城見庭園 青木門跡 加藤家屋敷跡 黒門跡 櫓台跡 西出丸空堀跡 西出丸土居 二の丸土居 東三の丸土居 大手門跡 太鼓櫓跡 二の丸帯曲輪・埋門 多門櫓</p> <p>眺望コース 多門櫓 石坂門跡 お城見庭園 青木門跡 加藤家屋敷跡 黒門跡 櫓台跡 西出丸空堀跡 西出丸土居 二の丸土居 牛尾家土堀 太鼓櫓跡 二の丸帯曲輪・埋門 多門櫓</p> <p>エピソード殿様コース 大手門跡 二の丸御殿遺構（遍照寺） お城見庭園 石坂門跡 多門櫓 二の丸帯曲輪・埋門 エピソードご家老コース 加藤家屋敷跡 石坂門跡 多門櫓 二の丸帯曲輪・埋門 エピソード石井兄弟コース 亀山八幡神社 大手門跡 石坂門跡 石井兄弟敵討碑 加藤家屋敷跡 青木門跡 京口門跡</p>	

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性
多門櫓	殿様コースの拠点	
帯曲輪・埋門		
加藤家屋敷跡	ご家老コースの拠点	

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性
牛尾家土塀	帯曲輪から三重櫓跡、堀への眺望	眺望点の確保と「もののふのみち」
お城見庭園	本丸方向、東海道からの眺望	景観的整合（街路燈・橋脚）
西出丸土居	城の高低差の実体視	植生管理・説明板

ストーリーの提供方策

- 比較的説明板も設置されており最も提示しやすいコースのため、さまざまなジャンルにおいての連動が可能。
- 住民の参加意識をもたせるイベントとして位置づけを行う。
- コースマップを作成する。

「体験・学習・交流メニュー」の提供

- 継続的にイベントを開催。
- 住民の参加意識の熟成を意図した学習会（月例会的な）を開催。
- 他のストーリーとの組み合わせ。

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- 加藤家屋敷跡についての総合的な整備活用計画を策定した上で拠点化を進める。
- 城跡の範囲を見定めた史跡指定。

秀吉が来た！（秀吉が戦った城・秀吉と戦った城）

ストーリーの概要																																	
趣旨	<p>天正 10（1582）年本能寺の変による信長没後、その後継を争う戦が繰り広げられる。やがて秀吉によって天下統一されるが、秀吉の天下統一はこの戦の勝利が鍵だったと注目されている。亀山城・峯城はこの戦の中で秀吉によって攻められ、この他にも関連する城跡や寺院、伝承が数多く残されている。</p> <p>ここでは特に秀吉による峯城攻めに注目し、城を攻めた秀吉側の視点と城を守った峯城側の視点にたって各資産を取り上げる。</p>																																
特徴と背景	<p>天正 11 年に繰り広げられた戦に関連する城跡・街道・寺院を時系列で追う。これに伝承・伝説や周辺の豊かな自然環境と併せることで内容豊かなストーリーとする。</p>																																
関連する資源	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安楽峠</td> <td>滋賀県と三重県の県境</td> </tr> <tr> <td>石水溪</td> <td>風光明媚な溪谷</td> </tr> <tr> <td>太閤腰掛岩</td> <td>秀吉が腰をかけて采配を振るったとの伝承</td> </tr> <tr> <td>野登山・野登寺</td> <td>県天然記念物ブナ林。眺め良い。秀吉が焼き払う。</td> </tr> <tr> <td>坂本棚田</td> <td>日本の棚田百選</td> </tr> <tr> <td>坂本農村公園</td> <td>ミツマタ</td> </tr> <tr> <td>逆川</td> <td>自然の造形美</td> </tr> <tr> <td>不動院</td> <td>秀吉が橋桁にしたと伝承がある仏像</td> </tr> <tr> <td>野元坂館跡</td> <td>発掘調査。この戦に備えて改修？</td> </tr> <tr> <td>落山城跡</td> <td>城跡</td> </tr> <tr> <td>峯城跡</td> <td>ストーリーの中心</td> </tr> <tr> <td>がもんじ</td> <td>蒲生氏郷が攻めたことから、怖いもの＝「がもんじ」の伝承</td> </tr> <tr> <td>太田まんどころ</td> <td>秀吉本陣の伝承地</td> </tr> <tr> <td>古城跡</td> <td>遺構が良好に残る。峯城を守る城？攻める城？</td> </tr> <tr> <td>その他中世城館</td> <td>八島川沿い。鈴鹿市にも関連城跡あり。</td> </tr> </tbody> </table>	名称	概要	安楽峠	滋賀県と三重県の県境	石水溪	風光明媚な溪谷	太閤腰掛岩	秀吉が腰をかけて采配を振るったとの伝承	野登山・野登寺	県天然記念物ブナ林。眺め良い。秀吉が焼き払う。	坂本棚田	日本の棚田百選	坂本農村公園	ミツマタ	逆川	自然の造形美	不動院	秀吉が橋桁にしたと伝承がある仏像	野元坂館跡	発掘調査。この戦に備えて改修？	落山城跡	城跡	峯城跡	ストーリーの中心	がもんじ	蒲生氏郷が攻めたことから、怖いもの＝「がもんじ」の伝承	太田まんどころ	秀吉本陣の伝承地	古城跡	遺構が良好に残る。峯城を守る城？攻める城？	その他中世城館	八島川沿い。鈴鹿市にも関連城跡あり。
名称	概要																																
安楽峠	滋賀県と三重県の県境																																
石水溪	風光明媚な溪谷																																
太閤腰掛岩	秀吉が腰をかけて采配を振るったとの伝承																																
野登山・野登寺	県天然記念物ブナ林。眺め良い。秀吉が焼き払う。																																
坂本棚田	日本の棚田百選																																
坂本農村公園	ミツマタ																																
逆川	自然の造形美																																
不動院	秀吉が橋桁にしたと伝承がある仏像																																
野元坂館跡	発掘調査。この戦に備えて改修？																																
落山城跡	城跡																																
峯城跡	ストーリーの中心																																
がもんじ	蒲生氏郷が攻めたことから、怖いもの＝「がもんじ」の伝承																																
太田まんどころ	秀吉本陣の伝承地																																
古城跡	遺構が良好に残る。峯城を守る城？攻める城？																																
その他中世城館	八島川沿い。鈴鹿市にも関連城跡あり。																																
ルート略図	<p>安楽峠 石水溪 太閤腰掛岩 石水溪野外研修施設 野登山・野登寺</p> <p>坂本農村公園（ミツマタ） 坂本棚田 逆川 不動院 野元坂館跡</p> <p>落山城跡 峯城・峯城駐車場 古城跡 山尾氏館跡 青館跡</p>																																

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性
石水溪野外研修施設	駐車場・トイレ	峠道を散策する際の拠点。石水溪の自然美を生かした峠道の散策コース。「自然」を前面に演出。
野登地区コミュニティ	駐車場・トイレ	野登山・上野登寺を登山する際の拠点。上級登山コース。「信仰」を前面に演出。
野登郵便局	トイレ	上記2エリアの案内施設
不動院	駐車場・トイレ	秀吉伝承と関わりのある仏像あり。展示ケースで常に見られるようにしたい。併せて野元坂館跡など周辺の中世城館のパネル展示もしたい。
峯城駐車場	駐車場・トイレ	総合ガイダンス施設。城内に個別遺構の説明看板を設置したい。鈴鹿市の関連城跡へも足を運ぶような演出をしたい。
川崎地区コミュニティ	駐車場・トイレ	ルートから少し外れるため、峯城に特化せず「川崎の歴史」という中で取り上げる。
川崎郵便局	駐車場・トイレ	古城跡見学の際の拠点。

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性
安楽峠	眺めが良い	峠の散策コース
石水溪	観光スポット	
野登山	山頂からの眺めが良い	野登山登山コース
坂本農村公園	展望台・駐車場・トイレ	
不動院	仏像	展示施設
八島橋のたもと	地形・城館が見渡せる	パノラマ写真の看板

ストーリーの提供方策

- 秀吉が安楽峠を越えて攻めてきたルートを時系列に追う。
- 秀吉と地元勢力の攻防を、秀吉の視点と地元勢力の視点から検証する。
- 伝承・伝説を織り交ぜることで内容豊かなものに。
- 自然環境が素晴らしいので散策コースに取り込む。
- 関心が深まれば、「関氏一族の盛衰」や「伊勢亀山城をゆく」のストーリーへ展開。

「体験・学習・交流メニュー」の提供

- 城跡の個別遺構を読み解くツアー
- 他市の関連城跡を含めた広域のツアー（鈴鹿市、四日市市）
- 古文書解読

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- 城跡の場所が分かりづらい（案内標識の設置）
- 城跡散策が冬季のみ（安全の確保が必要）
- 城跡が民地の場合、事前に立ち入り許可

ヤマトタケルを偲ぶ

ストーリーの概要																			
趣 旨	古代日本の国家成立の過程を反映して成立したとみられる、ヤマトタケルの説話について、この地域の歴史を象徴するのシンボルとしてヤマトタケルを起点的にとりあげ、他のルート、歴史回廊自体のエントランスとする。																		
特徴と背景	定点的なものであるため、コースは設定しない。実在の史話ではないことから、さまざまなルート、他の地域への移行する際の起点となる。																		
関連する資源	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>能褒野王塚古墳</td> <td>宮内庁による陵墓指定地</td> </tr> <tr> <td>のぼの自然の森</td> <td></td> </tr> <tr> <td>忍山神社</td> <td>オトタチバナヒメ生誕伝承地</td> </tr> <tr> <td>歴史博物館</td> <td>ヤマトタケル関連の展示あり。</td> </tr> <tr> <td>能褒野神社</td> <td>ヤマトタケルを祭神とする。連理の榊がある。</td> </tr> <tr> <td>加佐登神社（白鳥塚）</td> <td>鈴鹿市。ヤマトタケルを祭神とする。ヤマトタケル石像、絵馬あり。白鳥塚は近世段階でのヤマトタケル墓と考えられていた。</td> </tr> <tr> <td>武備塚古墳(長瀬神社)</td> <td>鈴鹿市。亀山藩がヤマトタケル墓として整備。長瀬神社は延喜式内社推定地のひとつ。</td> </tr> <tr> <td>双児塚古墳</td> <td>鈴鹿市。ヤマトタケル墓推定地のひとつ。</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	概 要	能褒野王塚古墳	宮内庁による陵墓指定地	のぼの自然の森		忍山神社	オトタチバナヒメ生誕伝承地	歴史博物館	ヤマトタケル関連の展示あり。	能褒野神社	ヤマトタケルを祭神とする。連理の榊がある。	加佐登神社（白鳥塚）	鈴鹿市。ヤマトタケルを祭神とする。ヤマトタケル石像、絵馬あり。白鳥塚は近世段階でのヤマトタケル墓と考えられていた。	武備塚古墳(長瀬神社)	鈴鹿市。亀山藩がヤマトタケル墓として整備。長瀬神社は延喜式内社推定地のひとつ。	双児塚古墳	鈴鹿市。ヤマトタケル墓推定地のひとつ。
	名 称	概 要																	
	能褒野王塚古墳	宮内庁による陵墓指定地																	
	のぼの自然の森																		
	忍山神社	オトタチバナヒメ生誕伝承地																	
	歴史博物館	ヤマトタケル関連の展示あり。																	
	能褒野神社	ヤマトタケルを祭神とする。連理の榊がある。																	
	加佐登神社（白鳥塚）	鈴鹿市。ヤマトタケルを祭神とする。ヤマトタケル石像、絵馬あり。白鳥塚は近世段階でのヤマトタケル墓と考えられていた。																	
武備塚古墳(長瀬神社)	鈴鹿市。亀山藩がヤマトタケル墓として整備。長瀬神社は延喜式内社推定地のひとつ。																		
双児塚古墳	鈴鹿市。ヤマトタケル墓推定地のひとつ。																		
ルート略図																			

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性
のぼの自然の森		
歴史博物館	既存の展示あり。	
忍山神社		

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性
王塚からの眺望	国唄のイメージを増幅する。	

ストーリーの提供方策

- 『日本書紀』『古事記』におけるヤマトタケルの足跡を提示する。
- ヤマトタケルそのもののストーリーの語り部。

「体験・学習・交流メニュー」の提供

- 白鳥伝承にかかる三墓（羽曳野市白鳥陵・御所市琴弾原）との交流事業。（既存）
- 古代東海道とのリンク。
- 能褒野墓推定地（鈴鹿市武備塚・双児塚・白鳥塚）にかかる他地域交流。
- 文学とのリンク。
- 過去に上演実績のある市民ミュージカル「オトタチバナヒメ物語」や「タケル神楽」の再演。

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- ヤマトタケル自体をヒーロー化しない。（征伐史観）
- 能褒野墓の比定過程を明らかにしておく。（本家争いにならないこと）
- 文学碑としての国唄歌があってもよいかも。

古代王権の道

ストーリーの概要

趣 旨	<p>亀山市内には古代東海道が通過していた。東海道は古代国家成立に大きな役割を果たしており、想定ルートには古代王権との関連をうかがわせる遺跡が点在する。これらの遺跡を結び訪ねることにより古代国家成立期に想いを馳せる。</p>		
特徴と背景	<p>加太超えは古代最大の内乱である「壬申の乱」の舞台となった。加太から関にかけては、古墳時代前期の盤座の可能性が考えられる「新道岩陰遺跡」や古墳時代後期の「笹ヶ平古墳」など原東海道を想定させる遺跡や律令三関のひとつである「鈴鹿関跡」に代表される古代遺跡がある。</p>		
関連する資源	名 称	概 要	
	大和街道（梶ヶ坂）	切通しや庚申跡などがあり旧大和街道の面影を良く残す。古代東海道を踏襲か。整備計画有り。	
	笹ヶ平古墳	古墳時代後期の横穴式石室。大和街道を見下ろす位置に所在し、原東海道を想定させる。	
	新道岩陰遺跡	古墳時代前期の祭祀遺跡。交通に関わる祭祀の可能性があり、原東海道を想定させる。	
	大和街道（新所）	切通しや“屏風岩”などがあり旧大和街道の面影を良く残す。古代東海道を踏襲か。	
	観音沖遺跡	古代瓦の出土地。	
	西追分	東海道と大和街道が交わる。	
	鈴鹿関跡がガイドン施設	当面は西追分散策拠点を利用。	
	鈴鹿関跡	北西築地跡。	
	行者岩	鈴鹿関から南西を望む。	
	獅岩	鈴鹿関から東方を望む。	
	赤坂頓宮跡	聖武天皇行幸や斎王群行の頓宮跡候補地。	
	鈴鹿駅家跡	伊勢別街道との分岐点に所在し駅家跡や小関などが想定される。	
	古厩遺跡		
	切山瓦窯跡	重圏文軒丸瓦・重郭文軒平瓦出土	
ルート略図	<p>梶ヶ坂公民館 大和街道（梶ヶ坂） 笹ヶ平古墳 B & G 海洋 新道岩陰遺跡 大和街道（新所） 鈴鹿関跡ガイドン施設 西追分 鈴鹿関跡 行者岩 獅岩 観音沖遺跡 赤坂頓宮跡 古厩公民館 鈴鹿駅家跡 古厩遺跡 切山瓦窯</p>		

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性
梶ヶ坂公民館	駐車場・トイレ	旧大和街道関連資料を展示する。
B & G 海洋センター	駐車場・トイレ	新道岩陰遺跡の資料を展示する。
鈴鹿関ガイダンス施設	駐車場・トイレ	当面は、西追分散策拠点を利用。 鈴鹿関を中心に関連する遺跡の資料を展示する。
古厩公民館	駐車場・トイレ	伊勢別街道に関する資料や古厩遺跡の考古資料を展示する。

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性
獅岩	東国への広がり を望む	ポイントまでの東海道自然歩道は一定の整備がされているが、ビューポイントそのものは現状では危険なため安全性を確保した整備が必要。
行者岩	大和街道と東海道 を望む	

ストーリーの提供方策

- 古代東海道を基軸としたパンフレットの作成。
- 所在がわかりにくい資源が多いためルート表示を行う。
- 地域公民館をエリア施設とするとともに地域学習の場とする。

「体験・学習・交流メニュー」の提供

- 『日本書紀』壬申の乱の輪読会
- 古代東海道を歩く

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- 民有地に所在する資源が多く、所有者の理解を得る必要がある。
- 旧亀山市域への拡大を図る。

関氏一族の盛衰

ストーリーの概要																																																					
趣 旨	中世を通じて旧鈴鹿郡に蟠踞した関氏一族。この関氏の発祥から、宗家の関氏から独立して関五家と呼ばれるようになり、やがて織豊政権に収斂され滅亡するまでの過程を、各地に残された城跡やゆかりのある資料を通じてたどる。																																																				
特徴と背景	関・峯・加太・神戸・国府の各氏とその被官の城跡を「城のネットワーク」という視点で捉える。																																																				
関連する資源	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久覚廃寺</td> <td>平盛国坐像 久我庄</td> </tr> <tr> <td>関実忠館跡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亀山古城（若山城）</td> <td>亀山城</td> </tr> <tr> <td>高飛館跡</td> <td>亀山城攻めに関連。発掘調査済み。</td> </tr> <tr> <td>秀吉本陣跡</td> <td>亀山城攻めに関連。</td> </tr> <tr> <td>住山砦</td> <td>規模の大きい土塁残る。</td> </tr> <tr> <td>白木城跡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小野城跡</td> <td>土塁残る。</td> </tr> <tr> <td>峯城跡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>野元坂館跡</td> <td>峯城攻めに関連。</td> </tr> <tr> <td>落山城跡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>古城跡</td> <td>峯城攻めに関連。</td> </tr> <tr> <td>青館跡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山尾氏館跡</td> <td>峯氏被官</td> </tr> <tr> <td>鹿伏兎城跡</td> <td>加太氏の居城</td> </tr> <tr> <td>神福寺</td> <td>加太氏の菩提寺</td> </tr> <tr> <td>大和街道</td> <td>鹿伏兎城はこの街道を抑えていた。</td> </tr> <tr> <td>加太金場</td> <td>鉄を産出していた？</td> </tr> <tr> <td>市場遺跡</td> <td>加太氏の居館？</td> </tr> <tr> <td>笹ヶ平古墳</td> <td>大和街道沿いの古墳</td> </tr> <tr> <td>正法寺山荘跡</td> <td>関氏の館跡。発掘調査済み。</td> </tr> <tr> <td>羽黒山</td> <td>風光明媚な山。仙人が住んでいたともいわれる。</td> </tr> <tr> <td>宗長日記</td> <td>正法寺山荘跡のことが詳しく記される日記</td> </tr> <tr> <td>国府城</td> <td>鈴鹿市</td> </tr> <tr> <td>神戸城</td> <td>鈴鹿市</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	概 要	久覚廃寺	平盛国坐像 久我庄	関実忠館跡		亀山古城（若山城）	亀山城	高飛館跡	亀山城攻めに関連。発掘調査済み。	秀吉本陣跡	亀山城攻めに関連。	住山砦	規模の大きい土塁残る。	白木城跡		小野城跡	土塁残る。	峯城跡		野元坂館跡	峯城攻めに関連。	落山城跡		古城跡	峯城攻めに関連。	青館跡		山尾氏館跡	峯氏被官	鹿伏兎城跡	加太氏の居城	神福寺	加太氏の菩提寺	大和街道	鹿伏兎城はこの街道を抑えていた。	加太金場	鉄を産出していた？	市場遺跡	加太氏の居館？	笹ヶ平古墳	大和街道沿いの古墳	正法寺山荘跡	関氏の館跡。発掘調査済み。	羽黒山	風光明媚な山。仙人が住んでいたともいわれる。	宗長日記	正法寺山荘跡のことが詳しく記される日記	国府城	鈴鹿市	神戸城	鈴鹿市
	名 称	概 要																																																			
	久覚廃寺	平盛国坐像 久我庄																																																			
	関実忠館跡																																																				
	亀山古城（若山城）	亀山城																																																			
	高飛館跡	亀山城攻めに関連。発掘調査済み。																																																			
	秀吉本陣跡	亀山城攻めに関連。																																																			
	住山砦	規模の大きい土塁残る。																																																			
	白木城跡																																																				
	小野城跡	土塁残る。																																																			
	峯城跡																																																				
	野元坂館跡	峯城攻めに関連。																																																			
	落山城跡																																																				
	古城跡	峯城攻めに関連。																																																			
	青館跡																																																				
	山尾氏館跡	峯氏被官																																																			
	鹿伏兎城跡	加太氏の居城																																																			
	神福寺	加太氏の菩提寺																																																			
	大和街道	鹿伏兎城はこの街道を抑えていた。																																																			
	加太金場	鉄を産出していた？																																																			
	市場遺跡	加太氏の居館？																																																			
	笹ヶ平古墳	大和街道沿いの古墳																																																			
	正法寺山荘跡	関氏の館跡。発掘調査済み。																																																			
	羽黒山	風光明媚な山。仙人が住んでいたともいわれる。																																																			
宗長日記	正法寺山荘跡のことが詳しく記される日記																																																				
国府城	鈴鹿市																																																				
神戸城	鈴鹿市																																																				
ルート略図	<p>関氏の盛衰というルート 関氏の発祥 関五家の城 関氏の滅亡</p> <p>関五家の各領域を周るルート 亀山城周辺、峯城周辺、鹿伏兎城周辺、国府城周辺、神戸城周辺</p> <p>以上、二つのルートが設定可能と思われる。</p>																																																				

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性
歴史博物館	駐車場・トイレ	総合ガイダンス施設
峯城駐車場	駐車場・トイレ	「秀吉が来た！」のルートを参照。
神福寺	駐車場・トイレ	亀山市内唯一の典型的な山城。急峻な山道を登り山城を実体感する。
正法寺山荘跡	駐車場・トイレ	サクラの名所。サクラの時期に出張屋外展示。

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性

ストーリーの提供方策

--

「体験・学習・交流メニュー」の提供

--

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- 城跡の場所が分かりづらい（案内標識の設置）。
- 城跡散策が冬季のみ（安全の確保が必要）。
- 城跡が民地の場合、事前に立ち入り許可。

志賀直哉が見た亀山

ストーリーの概要

趣 旨	<p>わが国における私小説のスタイルを確立し、近代文学史において「小説の神様」と賞された志賀直哉。その唯一の長編小説である『暗夜行路』において主人公の心情が大きく展開するシーンは、主人公が亀山のまちを散策する情景とともに描かれている。このシーンを追体験することで、城・城下・宿それぞれの歴史的背景を一体のものとしてつなげてゆく。</p>																						
特徴と背景	<p>『暗夜行路』における描写が現在にいたっても具体的な情景として実感することができる。また、そのコースは駅を起点として宿から城下、そして城本体を第三者的に縦断していることが最大の特色である。その中で亀山とはどのような地であるのか冷静な観察を行っており、亀山城・亀山城下・亀山宿それぞれのストーリーを時間軸を超越してつなぐことのできる媒体的なストーリーである。</p>																						
関連する資源	名 称	概 要																					
	亀山駅	ストーリーの起点																					
	亀山神社	コース巡回の起点																					
	亀山公園	小説における具体的表現の追認																					
	亀山城跡	ストーリーのシンボル																					
	志賀直哉生母生家跡	直接小説には登場しないが、志賀直哉と亀山の関係を示すもの。																					
ルート略図	<table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>亀山駅</td> <td>お城見庭園</td> <td>館家住宅</td> <td>加藤家屋敷跡</td> </tr> <tr> <td>二の丸御殿遺構（遍照寺）</td> <td></td> <td>多門櫓</td> <td>亀山神社</td> </tr> <tr> <td>二の丸帯曲輪・埋門</td> <td></td> <td>二の丸土居</td> <td>公園池</td> </tr> <tr> <td>牛尾家土塀（志賀直哉生母生家跡）</td> <td></td> <td>太鼓櫓跡</td> <td>亀山公園北</td> </tr> <tr> <td>亀山駅</td> <td></td> <td></td> <td>石坂門跡</td> </tr> </table>			亀山駅	お城見庭園	館家住宅	加藤家屋敷跡	二の丸御殿遺構（遍照寺）		多門櫓	亀山神社	二の丸帯曲輪・埋門		二の丸土居	公園池	牛尾家土塀（志賀直哉生母生家跡）		太鼓櫓跡	亀山公園北	亀山駅			石坂門跡
亀山駅	お城見庭園	館家住宅	加藤家屋敷跡																				
二の丸御殿遺構（遍照寺）		多門櫓	亀山神社																				
二の丸帯曲輪・埋門		二の丸土居	公園池																				
牛尾家土塀（志賀直哉生母生家跡）		太鼓櫓跡	亀山公園北																				
亀山駅			石坂門跡																				

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性
亀山公園北から公園池	志賀直哉の描写地	「幽翠」な雰囲気維持

ストーリーの提供方策

- 『暗夜行路』において的確な描写がされているので特別なサイン等は不要。文章からどのコースをたどったかがわかるので、いかに原文を手にするか。
- 何かモニュメント的なものは必要か。

「体験・学習・交流メニュー」の提供

- 志賀直哉と亀山との関係をクローズアップした講演会などを開催し、定着化を図る。
- 体験ツアーよりも、小説を手にとりそれぞれが散策の方が趣があるか。

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- 『暗夜行路』に関するモニュメントが必要。
- ライブラリーまでは必要ないが、志賀直哉の年譜や系図などの基礎データの提示は必要。(パンフレットとは別に)

街道をゆく

ストーリーの概要

趣 旨	東海道歴史文化回廊の各ルートの基本となる、東海道・大和街道・伊勢別街道・巡見道を実際に踏破してゆく中から、さまざまなストーリーの位置関係やつながりを掌握する。	
特徴と背景	それぞれの道自体は地理的に固定されているものの、時間軸は道に付随するアイテムによって変動し、重複したストーリーが存在するため、道そのものをストーリー化はしない。また、基軸となる道から派生するストーリーをもつ安楽越、金王道や津道も包括したものとする。	
関連する資源	名 称	概 要
	東海道	
	大和街道	
	伊勢別街道	
	巡見道	
	安楽越	
	金王道	
	津道	
ルート略図		

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性

ストーリーの提供方策

- 既存のイラストマップ・サインによりルートを紹介を行う。
- 詳細については、附帯するストーリーによって変動。

「体験・学習・交流メニュー」の提供

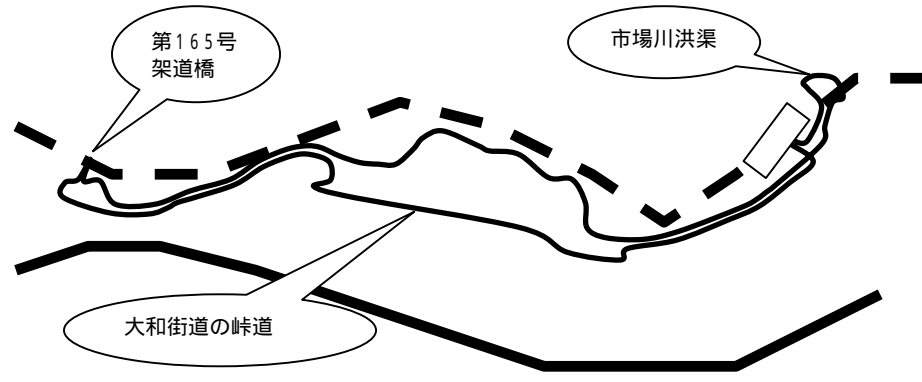
- コースを踏破するイベント開催。この際に、単に歩くことだけではなく。

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- 個別のストーリーを超越した基軸となるため、ストーリーやルートとは別に、トイレ・散策拠点施設の設置または既存施設の位置づけが必要。
- トータルのガイダンス施設をどこに位置づけるか。

亀山の近代化と鉄道遺産にふれる

ストーリーの概要

趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> レンガ造の建造物を見学する。 大和街道の峠道を歩く。 													
特徴と背景	明治 23 年に関西鉄道が開通して 100 年以上が経過しているが、当時の建造物が今も現存し、また使われ続けている。													
関連する資源	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="300 562 608 607">名 称</th> <th data-bbox="608 562 1495 607">概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="300 607 608 651">市場川洪渠</td> <td data-bbox="608 607 1495 651">長さ 3.7m、幅 15.8m レンガ・石造</td> </tr> <tr> <td data-bbox="300 651 608 696">第 1 6 5 号架道橋</td> <td data-bbox="608 651 1495 696">長さ 2.5m、幅 21.2m レンガ造</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	名 称	概 要	市場川洪渠	長さ 3.7m、幅 15.8m レンガ・石造	第 1 6 5 号架道橋	長さ 2.5m、幅 21.2m レンガ造							
	名 称	概 要												
	市場川洪渠	長さ 3.7m、幅 15.8m レンガ・石造												
第 1 6 5 号架道橋	長さ 2.5m、幅 21.2m レンガ造													
ルート略図	<p>加太駅スタート例</p> <p>東コース 加太駅 市場川洪渠 金場隧道などのトンネル レンガ造の橋脚</p> <p>西コース 加太駅 第 1 6 5 号架道橋 中在家の高堤防</p> 													

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性
加太駅	アクセスが良い	

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性
加太川の景観		

ストーリーの提供方策

「体験・学習・交流メニュー」の提供

- 定番撮影ポイント（いわゆる「ホンカブト」「ウラカブト」等）で自然景観と鉄道の撮影体験。

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- 蒸気機関車の復活の原動力となるよう魅力的な提案が必要。
- ますみ公園と関ロッジに残る蒸気機関車への誘導の距離がある。

延喜式内社を巡る

ストーリーの概要

趣 旨	市内随所に点在している、古代から存続している（と考えられる）式内社を訪ねて、古より市域の各所で営まれてきた歴史を体感する。	
特徴と背景	延喜式は927（延長5）年に完成しており、神名帳に記載のある神社は、この時点で既に有力な神社として存在していたと思われ、現在まで存続していれば、それだけ歴史のある神社といえる。	
関連する資源	名 称	概 要
	川俣神社	関町加太に所在
	布気神社	布気町に所在 当初忍山神社か
	忍山神社	布気町に所在 当初布気神社か
	片山神社	関町坂下に所在
	弥牟居神社	両尾町に所在
	那久志里神社	田村町名越に所在→能褒野神社に合祀
	眞木尾神社	阿野田町に所在か
	縣主神社	川崎町に所在か→現在の県屋敷の辺りか
	志波加支神社	亀山市内説あり
	長瀬神社	亀山市内説あり
ルート略図		

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性
川俣神社		
布気神社		
忍山神社		
片山神社		
弥牟居神社		
能褒野神社		

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性

ストーリーの提供方策

- 移動手段は車が便利
- 各神社とも駐車スペースあり
- トイレの有る神社もあり
- 一般的な地図を使用しても行くことは可能
- 案内看板はいくつか既存しているが説明看板などはないので何らかの説明手段は必要か

「体験・学習・交流メニュー」の提供

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- 車以外の交通手段が難しい
- 移動時間が長くなる

寺院巡り（鈴鹿郡八十八箇所）

ストーリーの概要

趣 旨	身近な寺院を巡ることにより、地域の魅力の再発見を促す。					
特徴と背景	かつて寺院は、庶民にとって信仰の対象であるとともに、札所巡りのように身近な旅としての位置づけもあった。					
関連する資源	札番号	名 称	札番号	名 称	札番号	名 称
	第一番	府南寺	第三十一番	宗英寺*	第六十一番	養福寺
	第二番	西楽寺	第三十二番	梅巖寺*	第六十二番	慈眼寺*
	第三番	佛光寺	第三十三番	善導寺*	第六十三番	宗徳寺*
	第四番	慶運寺	第三十四番	遍照寺*	第六十四番	千蔵寺*
	第五番	福寿寺	第三十五番	浄源寺*	第六十五番	永源寺*
	第六番	龍福禅寺	第三十六番	正覚寺*	第六十六番	野登寺*
	第七番	長賢寺*	第三十七番	福善寺*	第六十七番	安楽寺*
	第八番	高しん寺*	第三十八番	石上寺*	第六十八番	地蔵院*
	第九番	正覚禅寺*	第三十九番	正福寺*	第六十九番	興隆寺
	第十番	蓮光寺*	第四十番	仏性院*	第七十番	清泉寺
	第十一番	栄仙寺*	第四十一番	海善寺*	第七十一番	桃林寺
	第十二番	善徳寺*	第四十二番	地福寺	第七十二番	洞水寺
	第十三番	福満寺*	第四十三番	福寿院*	第七十三番	円満寺
	第十四番	西念寺*	第四十四番	光明寺*	第七十四番	真福寺
	第十五番	正念寺*	第四十五番	長明寺*	第七十五番	養泉寺
	第十六番	弘善寺*	第四十六番	清浄寺*	第七十六番	泰應寺
	第十七番	端光寺*	第四十七番	光照寺*	第七十七番	江西寺
	第十八番	福蔵寺*	第四十八番	法蔵寺*	第七十八番	西光寺
	第十九番	地蔵院*	第四十九番	太巖寺*	第七十九番	観音寺
	第二十番	聴川寺*	第五十番	円福寺*	第八十番	盛福寺
	第二十一番	福蔵寺*	第五十一番	大善寺*	第八十一番	常念寺
	第二十二番	龍淵寺*	第五十二番	国分寺*	第八十二番	薬王院
	第二十三番	天祥寺*	第五十三番	万寿寺*	第八十三番	妙法寺
	第二十四番	浄専寺*	第五十四番	不動院*	第八十四番	地蔵院
	第二十五番	常光寺*	第五十五番	西生寺*	第八十五番	浄安寺
	第二十六番	神福寺*	第五十六番	長善寺*	第八十六番	法雲寺
	第二十七番	法安寺*	第五十七番	一心院*	第八十七番	福寿寺
	第二十八番	真善寺*	第五十八番	宝昌寺*	第八十八番	石薬師寺
	第二十九番	慈恩寺*	第五十九番	金光寺	※「*」印は亀山市内の寺院	
	第三十番	心光寺*	第六十番	金龍寺		
ルート略図						

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性
慈恩寺		
地藏院		

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性
野登寺		

ストーリーの提供方策

- ルートマップを手に回る。
- 寺院を地域の資産として、活用するきっかけづくりとなりうる。

「体験・学習・交流メニュー」の提供

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- ルートマップの作成（一筆書きが困難）。
- 行政界をまたいでいる

亀山の化石博士になろう

ストーリーの概要		
趣 旨	<p>市内では、中の川流域（楠平尾町）と椋川流域（野村町～住山町）からステゴドンの化石が発見されている。また文献を見ると、現在ではほとんど見ることができない種類のタニシの化石が楠平尾町で発見されている。</p> <p>これらの発見場所を訪れて化石の採掘や地層の観察などの体験学習を行い、亀山市の遠い昔の自然環境を学ぶ。</p>	
特徴と背景	<p>興味を持ちやすい化石を導入として、自然地形の観察や自分たちを取り巻く環境の変化を学び、現代人が抱える環境問題へ取り組むスタートとする。</p>	
関連する資源	名 称	概 要
	野村町 富士山	明治35年、ステゴドンの下あごの化石発見
	〃	5～6年後、同じ場所で左あごの化石発見
	住山町 椋川左岸	昭和52年、直径1.7cm、復元長2.2mのキバ発見
	羽黒山	植物及びタニシの化石発見（『亀山地方郷土史』）
	楠平尾	タニシの化石発見（『亀山地方郷土史』）
		明治15年ステゴドンのあごの化石発見（『亀山地方郷土史』）
三重県立博物館	発見された化石の一部を収蔵している	
ルート略図	<p>化石が採取されるポイントは限られている。これに市内の特徴的な地形（逆川、鈴鹿山鏡岩、野登山ブナ林）を組み合わせるルートとする。</p>	

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性
化石発見場所		

ストーリーの提供方策

- 化石発見場所を巡る。可能であれば採掘する。
- 三重県立博物館への見学会

「体験・学習・交流メニュー」の提供

- 化石を採取するツアー
- 自然地形を観察するツアー（地層、逆川など）
- 市内で採取した化石の鑑定会
- 市内で採取した鉱物などの鑑定会

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- 化石が採取できる場所、地層が観察できる場所が少ない（新たなポイントの発掘が必要）。
- 盗掘に注意。
- 化石を導入として環境問題全般に関心が向くように展開させる。
- 歴博でレプリカの展示をするなど恒常的に資料が見られるようにする。

浮世絵・名所図会・紀行文を片手にたどる旅

ストーリーの概要																															
趣 旨	東海道が横断した当市は、江戸時代に描かれた浮世絵、紀行文などでたびたび表現されています。旅の途上で旅人がどのように亀山を見たのかは、亀山を理解する上で大きなヒントとなります。この絵や紀行文に描かれた地点を巡り、往時の面影を偲ぶとともに、町の移り変わりを体験します。																														
特徴と背景	江戸時代の旅人が見、感じた亀山の姿を知る。 地域を歴史から学ぶのではなく、美術品・文学作品等から楽しみながら学ぶ。 江戸時代と現代の景観の移り変わりを体験する。																														
関連する資源	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浮世絵</td> <td>東海道53次シリーズ（歌川広重他）</td> </tr> <tr> <td>名所図会</td> <td>「東海道名所図会」「伊勢参宮名所図会」</td> </tr> <tr> <td>紀行文</td> <td>ケンペル、シーボルト他</td> </tr> <tr> <td>多門櫓</td> <td>「雪晴」を追体験できる場所</td> </tr> <tr> <td>京口門跡</td> <td>「雪晴」</td> </tr> <tr> <td>東の追分</td> <td>浮世絵・名所図会。鳥居の背景に杓場山</td> </tr> <tr> <td>旅籠玉屋</td> <td>街道の賑わう旅籠の様子を知る。</td> </tr> <tr> <td>伊藤・川北本陣跡</td> <td>本陣の様子を知る。</td> </tr> <tr> <td>関地蔵院</td> <td>名所図会の姿がほぼ残る。鳥瞰的図法で境内全体が描かれる。一休禅師の逸話が絵になっている。</td> </tr> <tr> <td>筆捨山</td> <td>名所図会・浮世絵に描かれる。茶屋があった。</td> </tr> <tr> <td>弁天一里塚</td> <td>坂下街道難所のひとつ</td> </tr> <tr> <td>岩屋観音</td> <td>名所図会に描かれている。浮世絵の滝も？</td> </tr> <tr> <td>片山神社</td> <td>鈴鹿権現として描かれた姿がそのままに。ただし社殿はない。</td> </tr> <tr> <td>鈴鹿峠</td> <td>名所図会に描かれた灯籠坂・峠茶屋、シーボルトのオオサンショウウオ</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	概 要	浮世絵	東海道53次シリーズ（歌川広重他）	名所図会	「東海道名所図会」「伊勢参宮名所図会」	紀行文	ケンペル、シーボルト他	多門櫓	「雪晴」を追体験できる場所	京口門跡	「雪晴」	東の追分	浮世絵・名所図会。鳥居の背景に杓場山	旅籠玉屋	街道の賑わう旅籠の様子を知る。	伊藤・川北本陣跡	本陣の様子を知る。	関地蔵院	名所図会の姿がほぼ残る。鳥瞰的図法で境内全体が描かれる。一休禅師の逸話が絵になっている。	筆捨山	名所図会・浮世絵に描かれる。茶屋があった。	弁天一里塚	坂下街道難所のひとつ	岩屋観音	名所図会に描かれている。浮世絵の滝も？	片山神社	鈴鹿権現として描かれた姿がそのままに。ただし社殿はない。	鈴鹿峠	名所図会に描かれた灯籠坂・峠茶屋、シーボルトのオオサンショウウオ
名 称	概 要																														
浮世絵	東海道53次シリーズ（歌川広重他）																														
名所図会	「東海道名所図会」「伊勢参宮名所図会」																														
紀行文	ケンペル、シーボルト他																														
多門櫓	「雪晴」を追体験できる場所																														
京口門跡	「雪晴」																														
東の追分	浮世絵・名所図会。鳥居の背景に杓場山																														
旅籠玉屋	街道の賑わう旅籠の様子を知る。																														
伊藤・川北本陣跡	本陣の様子を知る。																														
関地蔵院	名所図会の姿がほぼ残る。鳥瞰的図法で境内全体が描かれる。一休禅師の逸話が絵になっている。																														
筆捨山	名所図会・浮世絵に描かれる。茶屋があった。																														
弁天一里塚	坂下街道難所のひとつ																														
岩屋観音	名所図会に描かれている。浮世絵の滝も？																														
片山神社	鈴鹿権現として描かれた姿がそのままに。ただし社殿はない。																														
鈴鹿峠	名所図会に描かれた灯籠坂・峠茶屋、シーボルトのオオサンショウウオ																														
ルート略図	<p>【亀山編】 多門櫓 大手門跡 横町 万町 お城見広場 西町 京口門跡</p> <p>【関 編】 東追分 川北本陣跡 伊藤本陣跡 関宿旅籠玉屋歴史資料館 関地蔵院</p> <p>【坂下編】 筆捨山・弁天一里塚 岩屋観音 片山神社 鈴鹿峠 鏡岩</p> <p>亀山歴史博物館 【亀山編】 かめやま美術館 【関 編】 鈴鹿馬子倶会館 【関 編】</p>																														

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性
亀山市歴史博物館	浮世絵を収蔵中	
かめやま美術館	浮世絵を常時展示	
関宿旅籠玉屋歴史資料館	浮世絵を常設展示	浮世絵の景観がそのまま
(仮) 関宿スケッチ美術館	現代の絵画を楽しめる。	常設的なスケッチ展示場所の確保
鈴鹿馬子唄会館	鈴鹿峠に関係する展示あり	

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性
筆捨山の眺望	峠の茶屋を疑似体験できる。	眺望ポイントの案内
お城見庭園	「雪晴」の疑似体験できる。	
鏡岩からの峠道の眺望	鈴鹿峠を振り返る景観ポイント	峠から鏡岩への誘導

ストーリーの提供方策

- ・ 紀行文の内容、浮世絵の画像などを提供するための図録的なパンフレット等の作成。
- ・ 浮世絵や紀行文が作成された時代背景を併せて解説する。
- ・ エリア施設の展示物の紹介。

「体験・学習・交流メニュー」の提供

- ・ 関宿スケッチコンクールなど、関係地域を対象とした現代の美術作品との連携。
- ・ 当地域を対象とした紀行文・随筆などの募集。地域の「小さな旅」の提案。
- ・ 東海道ルートとは特に関係が深く、連携を図る必要がある。

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- ・ 絵に描かれたり、紀行文となった特色のある亀山の風土を理解するとともに、これを現代に活かしていくため、美術作品に対する興味や景観意識を高めるような取り組みをあわせて行う必要がある。
- ・ 各ポイントに、画像等を展示することは難しいが、図録的なパンフレットを活用することにより、各地点の魅力が高まるよう配慮する。また、パンフレット上では、画像と文章とが立体的につながる構成をとることが望ましい。
- ・ 紀行文などは、今後も新たな発見があると思われる。

伝承・伝記の地に行く（東海道編）

ストーリーの概要		
趣 旨	今に伝わる先人達の話や、時代を超えて現地に今なお残るモノ・風景と対話することで感じる。	
特徴と背景	先人達の知恵や豊かな心が今なお感じ取れる場所が多数残されており、その地を訪ねることにより歴史や文化などと触れることができる。	
関連する資源	名 称	概 要
	鈴鹿山の鏡岩	鬼の姿見ともいわれる鈴鹿峠の岩
	片山神社	かみなり様が落ちてきた井戸の伝承 雷除け神社
	正調鈴鹿馬子唄	
	筆捨山	絵師が景色の変化が激しく描くことをあきらめる山
	ころび石	弘法大師が夜な夜なうなる石を鎮めた
	地藏院	一休禅師が地藏様におしっこをかけた逸話
	権現柿（瑞光寺）	徳川家康ゆかりの柿
	昼寝観音（落針観音庵）	流浪の末落針でお昼寝
ルート略図		

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性
片山神社		
正調鈴鹿馬子唄会館		
地藏院		
福蔵寺		

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性
鈴鹿山の鏡岩		
筆捨山		
池の側		

ストーリーの提供方策

- 既存のパンフレットなどに記載されているのが殆ど。

「体験・学習・交流メニュー」の提供

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

ほっと一息 ～ 亀山のマイナスイオンを旅する（植物編）～

ストーリーの概要		
趣 旨	市内には身近なところに四季を通して感じることができる自然がある。その移り変わりを体感することで、「くらす」ことの楽しさを享受し、他の地域資産との連動により歴史回廊の奥行きを醸成する。	
特徴と背景		
関連する資源	名 称	概 要
	春	
	野登山	県天然記念物ブナ林
	御所平	新緑
	坂本棚田	田植え
	坂本農村公園	ミツマタ
	西野公園	サクラ
	多門櫓周辺	サクラ
	太巖寺	フジ
	中の山パイロット	茶
	亀山公園	しょうぶ
	観音公園	しゃくなげ
	夏	
	坂本棚田	ツツジ
	高山観音公園	アジサイ
	秋	
	亀山公園	紅葉
	太田・三寺	コスモス
	宗英寺	イチョウ
	野村一里塚	彼岸花
国見広場	ススキ	
川崎町	小麦畑	
市内各所	稲穂の実る景色	
ルート略図		

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性

ストーリーの提供方策

- 遠足気分で気軽に参加できる。
- 珍しい植物を観察することもそうだが、身近にあるにもかかわらず気にも留めていない風景（田園など）に気づくような演出をしたい。
- 市内各地区でルートを作りたい。

「体験・学習・交流メニュー」の提供

- クリーン石水溪作戦などの清掃活動と連携。
- 継続して実施し、動植物や自然環境のモニタリング調査として活用。

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- 植物編のほか、動物編、昆虫編、水編（滝・川など）も作りたい。
- 道案内はもちろん、植物や動物に造詣の深いガイドの育成。
- 希少種は場所を公にしない約束。

まほろばのみち

ストーリーの概要

趣 旨	<p>旧鈴鹿郡域には、文学、特に和歌の題材として取り上げられた旧跡などが数多くある。これらをたどることで、亀山の魅力を再発見する。これ自体がストーリーを持つものではなく、宿場・街道、古代の道にかかるストーリーを補完するものである。</p>	
特徴と背景	<p>催馬楽から始まり、万葉集、古今和歌集、源氏物語、宗長日記さらには近世の紀行文にいたるまで文学上に登場する旧跡などは、外部からみたこの地域のイメージを表現しているものとみられる。内なる地域住民の視点とは異なる視点からのこの地域を注視することで、地域特性の本質を抽出することが可能である。</p> <p>また、古典として今日まで愛されてきた作品とその題材に接することで、新しい創造意欲を喚起する場となることを期待する。</p>	
関連する資源	名 称	概 要
	鈴鹿山	『今昔物語』『新古今和歌集』『江戸参府紀行』他
	鈴鹿川	『催馬楽』『万葉集』『源氏物語 賢木巻』
	湯津盤森	『夫木集』他
	正法寺山荘跡	『宗長日記』『言継卿記』
	蝦夷桜	『新後撰和歌集』
	鈴鹿関	『日本書紀』『続日本紀』『建仁二年水無瀬歌合』
	不断桜	英照皇太后愛玩
	大岡寺縄手	『ひさご集』
	能古茶屋	松尾芭蕉
	筆捨山	『伊勢参宮名所図会』
	能褒野墓	『日本書紀』『古事記』
	式部井戸	和泉式部
	琴橋	『平家物語』『五社百首』
	都々美井	『万葉集』
	亀山城	『東海紀行』『元和紀行』『江戸参府紀行』
	鈴鹿馬子唄	近松門左衛門『恋女房染分手綱』
	石井兄弟敵討碑	『絵本亀山噺』
ルート略図		

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性
正法寺山荘跡	「文学史上」が国史跡指定理由となっている。	四季を体感するイベントの創出。 かつて宗長がたどったであろうルート 復原による「文学的」追体験。
のぼのの森	ヤマトタケル及び最も著名な古代歌謡	歌碑があれば十分。

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性
筆捨山	近世からの名勝	植生管理と眺望点の確定。
鈴鹿川	「八十瀬」という枕言葉	蛇行・浅瀬を見る場の設定。
鈴鹿峠	多彩な文学表現の場	峠道全体の散策コース化と主要ポイントの修景。
龜山城跡	『暗夜行路』コース	志賀直哉のモニュメント

ストーリーの提供方策

- このストーリーだけを独立させる必要はないと考える。これは、このストーリー自体が時間軸やジャンルを超越しているものであるため、ルートとして独立させるものではなく、他のストーリーに深みを持たせるためのアイテム的な要素が強いと考えるためである。必要最小限なものとして先にあげたポイント整備と小冊子の作成やマップへの記載があればそれなりに効果はあると思われる。
- 「一帯」レベルでの景観維持あるいは修景が必要。

「体験・学習・交流メニュー」の提供

- 例えば「市民俳句会」を単一の文化イベントとして終わらせることなく、これらのアイテムを素材とするルールづくりの中で取り組むことは可能である。
- 作品創作も必要であることは間違いないが、募集方式では広がりが見えにくい。むしろワークショップ的な展開が入りやすいか。
- 鑑賞（例えば朗読、上演）という現地に行く動機付けも必要である。能の演目に無いだろうか。無ければ創作能でも良いのではないか？
- 少なくとも作品に接するライブラリーは準備しておく必要がある。

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- コーディネーターの育成。ハード整備を行っても、牽引者が弱ければ不首尾に終わるか。

亀山の歳時記

ストーリーの概要

趣 旨	<p>「亀山へは何月何日何時にここへ行ったらええで」、という情報をカレンダーにする。伝統的な民俗芸能から地区の盆踊り、きれいな花から美しい夜景まで、私だけしか知らない秘密の場所など亀山の様々なジャンルの「ええ所」を紹介する。</p>		
特徴と背景	<p>歳時記のストーリーだけでルートを設定することはできない。他のストーリーを周る際のオプションコースとして利用。</p>		
関連する資源	名 称	概 要	
	80～81 ページ参照		
	ルート略図		

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性
各地区コミュニティ		

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性

ストーリーの提供方策

「体験・学習・交流メニュー」の提供

- 「マイベストスポット」の募集。そこからの風景を写真コンテストにする。

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- 市内の人が集まる場所に歳時記を配布。
- 毎年、実施日など内容の確認をする必要がある。
- 私だけしか知らない「マイベストスポット」などを募集するとおもしろい。(場所が分かりにくいかな。)
- メジャーなものではなくよりマニアックな方が面白い（「うちの庭から見える野登山が綺麗」など）

(参考)平成18年度歳時記一覧

4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1	土		1	月		1	木		1	土		1	火	石水溪	1	金	
2	日	みつまた祭り(坂本) 観音山春まつり	2	火		2	金		2	日		2	水		2	土	新能
3	月		3	水		3	土		3	月		3	木		3	日	
4	火		4	木		4	日	坂本棚田 野上がり祭り	4	火		4	金		4	月	
5	水		5	金		5	月		5	水		5	土	納涼大会	5	火	
6	木		6	土		6	火		6	木		6	日	納涼大会	6	水	
7	金	ののぼりさん (安坂山町)	7	日		7	水		7	金		7	月		7	木	
8	土	亀山城桜まつり	8	月	太巖寺の藤	8	木		8	土		8	火		8	金	
9	日	熊野権現春祭 (和田町・石上寺)	9	火	しゃくなげ	9	金		9	日		9	水		9	土	
10	月		10	水		10	土		10	月		10	木		10	日	
11	火		11	木		11	日	花しょうぶ祭り	11	火		11	金		11	月	
12	水	坂下獅子舞	12	金		12	月		12	水		12	土		12	火	
13	木	白木の虚空蔵さん (白木町・国分寺)	13	土		13	火		13	木		13	日		13	水	
14	金		14	日					14	金		14	月	池山・中在家・向井 かんこ踊り	14	木	
15	土		15	月		15	木		15	土	辺法寺の天王さん (辺法寺町)	15	火	北在家・板屋・市場 かんこ踊り	15	金	
16	日		16	火		16	金		16	日		16	水		16	土	
17	月		17	水		17	土		17	月		17	木		17	日	
18	火		18	木		18	日		18	火		18	金		18	月	
19	水		19	金		19	月		19	水		19	土	関宿納涼花火大会	19	火	
20	木		20	土		20	火		20	木		20	日	星まつり	20	水	
21	金		21	日		21	水		21	金		21	月		21	木	
22	土		22	月		22	木		22	土	関宿夏祭り	22	火		22	金	
23	日		23	火		23	金		23	日	関宿夏祭り	23	水		23	土	
24	月		24	水		24	土		24	月		24	木	地藏盆(池山かん こ・一心院)	24	日	
25	火		25	木		25	日		25	火		25	金		25	月	
26	水		26	金		26	月		26	水		26	土		26	火	
27	木		27	土		27	火		27	木		27	日		27	水	
28	金		28	日		28	水		28	金		28	月	超泉寺おしる	28	木	
29	土		29	月		29	木		29	土		29	火		29	金	
30	日		30	火		30	金	名越の大祓 (田村町)	30	日		30	水		30	土	
			31	水					31	月	虫送り(木下町)	31	木				
・桜 正法寺山荘跡・太岡寺囃 川俣神社 ・白木の虚空蔵さん 4月は大会式。毎月13日 に護摩供養 ・熊の権現春祭 火渡り ・ののぼりさん(野登寺) 野登寺の縁日 ・役の行者供養(井尻町・正 覚寺)						・名越の大祓 (能褒野神社)			・辺法寺の天王さん 牛頭天王をお参りする。 辺法寺町各地区に残って いるとのこと ・虫送り(西念寺) 害虫を追い出す			超泉寺おしる 親鸞の命日を含め年3 回、参拝者におしるが振 舞われる。1月は大根、8 月はなすび、11月は大根 ・その他のかんこ踊り 川合町・平尾・安楽・辺法 寺・中庄町・小川町・田村 町・布気・山下・太田 ・百万遍念仏(井尻町・正覚 寺) ・地藏盆(坂本・石上寺・本町 4丁目) ・灯ろう送り(田村町) ・地藏まつり(本町) ・亀山神社秋祭り(献燈)			齋王群行 ・八日薬師(井尻町・正覚寺) 般若心経供養(石上寺) 明和百姓一揆 ・百万遍念仏(西町/遍照寺・ 誓昌院)		

10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	日	関宿スケッチコンクール	1	水		1	金		1	月	元旦マラソン 三寺獅子舞 田茂獅子舞 布気獅子舞	1	木		1	木	
2	月	加太秋の相撲大会	2	木		2	土		2	火	三寺獅子舞	2	金		2	金	
3	火		3	金		3	日		3	水	三寺獅子舞	3	土	厄除け星まつり (辺法寺町)	3	土	初午祭(川崎町)
4	水		4	土		4	月		4	木		4	日		4	日	
5	木		5	日	街道まつり	5	火		5	金		5	月		5	月	
6	金		6	月		6	水		6	土		6	火		6	火	
7	土	クローバーフェスタ	7	火		7	木	下庄の大山の神 (下庄町)	7	日		7	水		7	水	
8	日		8	水		8	金		8	月	江戸の道シティマラソン	8	木		8	木	
9	月	池山かんこ踊り	9	木		9	土		9	火		9	金		9	金	
10	火		10	金		10	日		10	水		10	土	御鞆祭(太森町太田)	10	土	
11	水		11	土		11	月		11	木		11	日	種池会	11	日	
12	木		12	日		12	火		12	金		12	月		12	月	
13	金		13	月		13	水		13	土		13	火		13	火	
14	土	亀山青空お茶まつり 忍山神社傘鉾 阿野田かんこ踊り 亀山・八幡神社 献燈 心形刀流 片角神社強飯	14	火		14	木		14	日		14	水		14	水	
15	日	阿野田かんこ踊り	15	水	亥の子(両尾町・山下・布気)	15	金		15	月		15	木		15	木	涅槃絵(小川町)
16	月	コスモス祭り(太田・三寺)	16	木		16	土		16	火		16	金		16	金	
17	火		17	金		17	日		17	水		17	土	関地藏院会式	17	土	
18	水		18	土		18	月		18	木		18	日		18	日	
19	木		19	日		19	火		19	金		19	月		19	月	
20	金		20	月		20	水		20	土		20	火		20	火	
21	土		21	火		21	木		21	日		21	水		21	水	
22	日		22	水		22	金		22	月		22	木		22	木	
23	月		23	木		23	土		23	火		23	金		23	金	
24	火		24	金		24	日		24	水		24	土		24	土	
25	水		25	土		25	月		25	木		25	日		25	日	
26	木		26	日		26	火		26	金	文化財防火デー 亀山大市	26	月		26	月	
27	金		27	月		27	水		27	土	亀山大市	27	火		27	火	
28	土		28	火	超泉寺おしる	28	木		28	日	亀山大市 超泉寺おしる	28	水		28	水	
29	日		29	水		29	金		29	月					29	木	
30	月		30	木		30	土		30	火					30	金	
31	火					31	日		31	水					31	土	
			亥の子 猪の多産に預かる、万病を払うまじない			山の神祭り(関町) 山仕事が無事終了感謝と翌年への祈願をこめて行われる 各寺社の大晦日 亥の子(井尻神明神社)			各寺社の元旦			種池会(たないけかい) もみ種をつける池を池さらえした後、餅つきをする習慣 御鞆祭(湯立神事・南宮大神社) 農作業の安全・豊作を祈る 厄除け星祭り(不動院) 節分			涅槃絵(万寿寺) 釈迦入滅 初午祭 長雨、凶作を封じるため 稻荷神社祭礼(本町三丁目) 百万遍念仏(西町/遍照寺・誓昌院)		

その他 : 巫女神楽(加太板屋 川俣神社)、虫送り(加太向井 聴川寺)、鈴鹿馬子唄

亀山仇討ストーリー

ストーリーの概要																	
趣 旨	亀山市には、「石井兄弟」と「関の小万」の二つの仇討話が伝わっている。2つのストーリーにまつわる遺跡を追いながら、芝居や浮世絵の題材としても喧伝された物語を体感する。																
特徴と背景	「史実」よりも近世において喧伝され、亀山の名を知らしめたストーリーであることがポイント。敵討ちが広く世に受け入れられたことは近世社会の一端を示すものである。																
関連する資源	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>亀山八幡神社</td> <td>城下鬼門の鎮護。敵討ちの集合場所。</td> </tr> <tr> <td>石井兄弟敵討碑</td> <td>亀山保勝会建立。敵討ちの現場。</td> </tr> <tr> <td>照光寺</td> <td>敵側赤堀水乃助墓と記念碑</td> </tr> <tr> <td>福蔵寺</td> <td>小万の墓所</td> </tr> <tr> <td>会津屋（山田屋跡）</td> <td>小万ゆかりの地</td> </tr> <tr> <td>もたれ松</td> <td>小万伝承地</td> </tr> <tr> <td>亀山市歴史博物館</td> <td>敵討ちに関する資料収蔵先</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	概 要	亀山八幡神社	城下鬼門の鎮護。敵討ちの集合場所。	石井兄弟敵討碑	亀山保勝会建立。敵討ちの現場。	照光寺	敵側赤堀水乃助墓と記念碑	福蔵寺	小万の墓所	会津屋（山田屋跡）	小万ゆかりの地	もたれ松	小万伝承地	亀山市歴史博物館	敵討ちに関する資料収蔵先
	名 称	概 要															
	亀山八幡神社	城下鬼門の鎮護。敵討ちの集合場所。															
	石井兄弟敵討碑	亀山保勝会建立。敵討ちの現場。															
	照光寺	敵側赤堀水乃助墓と記念碑															
	福蔵寺	小万の墓所															
	会津屋（山田屋跡）	小万ゆかりの地															
	もたれ松	小万伝承地															
亀山市歴史博物館	敵討ちに関する資料収蔵先																
ルート略図	<p>石井兄弟コース 亀山八幡神社 大手門跡 太鼓門跡 石坂門跡 黒門跡 京口門跡 照光寺</p> <p>関の小万コース 福蔵寺 山田屋跡（会津屋） 玉屋歴史資料館 小万もたれ松 亀山演武場</p>																

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性
亀山市歴史博物館	関連資料の集約	常設的に紹介の場を提供

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性
石井兄弟敵討碑	ストーリーの起点	

ストーリーの提供方策

- 従前行った関の「小万 200 年祭」の継続的展開
- 養老町や亀岡市といった石井兄弟ゆかりの地との交流

「体験・学習・交流メニュー」の提供

- 歌舞伎や浄瑠璃の上演、紙芝居や読本朗読
- 小冊子の刊行

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- 伝承的要素が強いだけに「史跡」との混同をいかに避けるか。

音吉道標を巡る

ストーリーの概要

趣 旨	<p>亀山市域には、大正3年頃に田中音吉氏の寄贈された多数の石製道標が存在する。この道標は徒歩を主体とした近代以前の道路網を反映させたものであるといえる。道標に記されたコースをたどることで、東海道などの主要街道からそれぞれの地域にどのように行き来していたのかを体感する。</p>	
特徴と背景	<p>東海道を起点として、様々な地域へ、道標の示すかつての人びとが往来した古い道路網をたどって行くことにより、歩いて移動するとはどのようなものなのかを体感する。</p>	
関連する資源	名 称	概 要
ルート略図		

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性
田中音吉道標	市域を中心に 87 基が確認されている。	

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性

ストーリーの提供方策

- 地道な調査活動をされている市民によって体系化が進められているので、この成果を反映させる。

「体験・学習・交流メニュー」の提供

- 道標自体の情報量は少ないので、道標探しではなく、ルート図を示してそれぞれが古い道路網を歩くかたちのものとする。

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- 全ての道標は網羅できないので、ルートを確立したマップを整備する。

平安の古仏をめぐる

ストーリーの概要

趣 旨	<p>亀山市には、わが国の平安初期彫刻の代表作品である慈恩寺阿弥陀如来立像が所在する。同時に特徴的な平安仏をめぐり、信仰によって1,000年もの長きにわたり人々によって守られてきた仏の姿を実体視する。</p>	
特徴と背景	<p>古代から中世にかけて爆発的に寺院や仏像造立が展開した事跡が見て取れ、この時期と各集落の萌芽的段階とが一致している。このことから、平安期の古仏の大半は地域開発と同調している可能性がうかがえる。</p>	
関連する資源	名 称	概 要
	慈恩寺	重要文化財。平安初期彫刻の代表例。立像もう一体。
	遍照寺	県下最古の地藏菩薩立像
	不動院	破仏。秀吉とのリンク
	円福寺	地域色豊かな十一面観音
	神福寺（善光寺）	加太地区随一の古仏。（旧善光寺本尊）
	大善寺	典型的な一木造。市指定文化財。
	東光寺	応永の修理名の銘がある薬師如来。市指定文化財。破仏一体。
	長明寺	『西大寺末寺帳』記載の寺院。七体薬師の遺品か。
	宗徳寺三重層塔	県下最古の建造物。
	法蔵寺	観音坐像
	光照寺	阿弥陀如来立像
	福泉寺	聖観音立像
	一心院	地藏菩薩立像
	正覚寺	阿弥陀如来立像
	誓昌院	阿弥陀如来坐像（旧清香寺本尊）
ルート略図	<p>神福寺　大善寺　東光寺　宗徳寺三重層塔　不動院　一心院　長明寺 正覚寺　光照寺　法蔵寺　円福寺　遍照寺　誓昌院　福泉寺　慈恩寺</p>	

ストーリーを提供するためのシステム

ストーリーを提供するための「拠点」づくり

エリア施設

名称	特徴	整備・演出の方向性
歴史博物館	仏像のデータを蓄積。	ガイダンス・データ提供場所

ビューポイント

名称	特徴	整備・演出の方向性

ストーリーの提供方策

- 刊行済みの『亀山市の仏像』、『関町の仏像』によってデータ提供は可能。
- 「仏像の見方」亀山版の作成・配布。

「体験・学習・交流メニュー」の提供

- 美術工芸史の切り口でのツアー開催。
- 地域ごとの再認識を目的とした再発見ツアー。

ストーリーの提供及び整備にあたっての課題

- セキュリティをどうするか。
- 常時公開のためのルールづくりは可能か。
- 来訪者の「拝観マナー」教育。

2. 既存資料一覧

書籍・報告書等名称	発行	発行年
地藏僧遺跡発掘調査報告	旧亀山市	1978
沢遺跡Ⅰ	〃	1988
走り下城跡	〃	1989
光於堂遺跡	〃	1989
山下地区文化財調査報告	〃	1990
沢遺跡Ⅱ	〃	1990
小野城跡	〃	1991
亀山市指定文化財 侍屋敷遺構加藤家長屋門修理工事報告書	〃	1994
亀山城本丸跡	〃	1992
西野遺跡・柴戸遺跡Ⅱ	〃	1993
亀山市埋蔵文化財分布地図	〃	1993
東樺野遺跡Ⅱ	〃	1993
忍山遺跡	〃	1994
慈恩寺 重要文化財木造阿弥陀如来立像調査概報	〃	1995
若宮遺跡	〃	1995
亀山城跡	〃	1996
大藪遺跡	〃	1997
亀山市の仏像	〃	1997
大垣内古墳発掘調査報告Ⅰ	〃	1997
伊勢亀山城跡発掘調査報告Ⅲ	〃	1999
野村一里塚遺跡・中川原遺跡・井尻古墳発掘調査報告書	〃	2000
山ノ下遺跡発掘調査報告書	〃	2002
亀山市指定文化財「加藤家長屋門及び土蔵」土蔵 円福寺経堂 修理工事報告書	〃	2004
亀山市の文化財（追録）	〃	2004
於登志遺跡	〃	2005
鈴鹿関町史 上巻	旧関町	1977
関氏正法寺山荘跡発掘調査報告	〃	1978
関氏正法寺山荘跡発掘調査報告－第二次－	〃	1979
関氏正法寺山荘跡発掘調査報告－第三次－	〃	1980
関氏正法寺山荘跡発掘調査報告－第四次－	〃	1981
史跡正法寺山荘跡発掘調査・整備報告昭和56年度	〃	1982
史跡正法寺山荘跡発掘調査・整備報告昭和57年度	〃	1983
鈴鹿関町史 下巻	〃	1984
史跡正法寺山荘跡発掘調査・整備報告昭和58年度	〃	1984
史跡正法寺山荘跡発掘調査報告昭和59年度	〃	1985
史跡正法寺山荘跡発掘調査・整備報告昭和60・61年度	〃	1987
関町内宅地開発地域埋蔵文化財試掘調査報告	〃	1991
小野遺跡発掘調査報告	〃	1996
関宿（中町地区）発掘調査報告	〃	1997
新道岩陰遺跡	〃	2003
関町文化財調査報告書 関町の仏像	〃	2004

3. 指定文化財一覧

(1) 国指定文化財

区分	種別	名 称	時代	所 在 地	所有者等	指定年月日
有	彫 建	木造阿弥陀如来立像	平	野村3丁目18-1	慈恩寺	昭12.8.25
		愛染堂	江	関町新所1173	地藏院	大9.4.15
		地藏院本堂・鐘楼	江	関町新所1173	地藏院	昭63.5.11
記	史	野村一里塚	江	野村町737-2他	亀山市	昭9.1.22
		正法寺山荘跡	室	関町鷲山字かまへ	亀山市	昭56.1.24
伝	建	亀山市関宿重要伝統的建造物群保存地区	江-明	関町木崎・中町・新所	亀山市	昭59.12.10
登	建	鈴鹿峠自然の家 (旧坂下尋常高等小学校)	昭	関町沓掛123	亀山市	平11.7.19

(2) 県指定文化財

区分	種別	名 称	時代	所 在 地	所有者等	指定年月日
有	彫	木造阿弥陀如来立像	鎌	西町524	遍照寺	平11.3.17
		木造観音菩薩坐像勢至菩薩立像	鎌	西町524	遍照寺	平13.1.25
	古	紙本墨書石上寺文書	鎌	和田町1185	石上寺	昭28.5.7
無	芸	亀山藩御流儀心形刀流武芸形		本丸町573	心形刀流保存赤心会	昭50.3.27
記	史	旧亀山城多聞櫓	江	本丸町576-1	亀山市	昭28.5.7
		峯城跡	南	川崎町	個人	昭44.3.28
		鹿伏兔城跡	南	加太市場	個人	昭56.3.14
		東の追分・西の追分	江	東追分：関町木崎・西追分：関町新所	亀山市・個人	昭57.4.27
	天	鈴鹿山の鏡岩		関町坂下	個人	昭11.1.22
		宗英寺のイチョウ		南野町819	宗英寺	昭12.7.12
		野登山のブナ林		安坂山町野登山	野登寺	昭31.12.5

(3) 市指定文化財

区分	種別	名 称	時代	所 在 地	所有者等	指定年月日
有	建	加藤家長屋門及び土蔵	江	西丸町545	亀山市	昭25.12.1
		円福寺経堂	江	住山町660	亀山市	昭26.8.24
		明治天皇行在所	明	本丸町575	亀山市	昭26.12.26
		大久保神官家棟門	江	本丸町574	亀山市	昭30.2.19
		上野登寺本堂 附庫裡・鐘楼	江	安坂山町野登山2893	野登寺	昭46.3.22
		法安寺庫裏の玄関 (旧松屋本陣門)	江	関町坂下91	法安寺	平6.3.23
		延命寺山門(旧川北本陣門)	江	関町木崎620	延命寺	平6.3.23
		旅籠「玉屋」	江	関町中町444	亀山市	平6.3.23
		福泉寺山門	江	東町1丁目10-16	福泉寺	平8.10.24
		石造三重層塔	鎌	両尾町原尾	宗徳寺	平8.10.24
	絵	紙本墨画仏手柑図	江		個人	昭27.6.18
		絹本着色聖徳太子孝養像・六臣像	室	東町1丁目10-16	福泉寺	平8.10.24
		絹本着色阿弥陀如来立像	室	東町1丁目10-16	福泉寺	平8.10.24
	書	月徳画山水人物図押絵貼屏風	江	若山町7-30	亀山市歴史博物館	平13.1.25
		高田本山第十世真慧上人直筆紙本墨書九字名号	室	東町1丁目10-16	福泉寺	平8.10.24

区分	種別	名称	時代	所在地	所有者等	指定年月日	
有	彫	木造阿弥陀如来坐像	室	羽若町 463	西光寺	昭 27. 12. 10	
		木造十一面観音立像	室	阿野田町 2246	蓮光寺	昭 30. 2. 19	
		木造薬師如来坐像	江	安坂山町 2033-1	野登寺(長善寺)	昭 31. 5. 28	
		木造不動明王坐像	江	辺法寺町 150	不動院	昭 31. 5. 28	
		木造聖観音菩薩立像	平	白木町 1951	大善寺	昭 31. 9. 12	
		木造薬師如来坐像	鎌	両尾町 851	河内地区(旧東光寺)	昭 37. 12. 11	
	木造薬師如来立像	鎌	下庄町 1190	弘法寺	昭 48. 6. 30		
	工	刀銘「河内守国助」	江		個人	昭 38. 12. 23	
		刀銘「栗田口正吉」	江	若山町 7-30	亀山市歴史博物館	昭 63. 1. 28	
		織部灯籠	江	阿野田町 2246	蓮光寺	昭 27. 6. 18	
		亀山鐔 銘「貞栄」	江		個人	昭 27. 6. 18	
		亀山鐔 銘「貞栄」	江	若山町 7-30	亀山市	平 3. 1. 31	
		亀山鐔 銘「間」	江		個人	昭 27. 6. 18	
		亀山鐔 銘「間」	江	若山町 7-30	亀山市	平 3. 1. 31	
		矢羽松葉図間鐔	江	若山町 7-30	亀山市歴史博物館	平 13. 1. 25	
		仁阿弥道八布袋炉蓋	江		個人	昭 27. 6. 18	
		仁阿弥道八藍染付山水之図耳付置花入	江		個人	昭 27. 12. 10	
		仁阿弥道八藤崩透蓋手焙	江		個人	昭 27. 12. 10	
		仁阿弥道八白蔵主炉蓋	江		個人	昭 43. 12. 25	
		初代道八左馬之図朱茶碗	江		個人	昭 55. 6. 28	
		仁阿弥道八茶釉松尽長耳付水指	江		個人	昭 55. 6. 28	
		仁阿弥道八青花白磁梅花之図耳付置花入	江		個人	昭 55. 6. 28	
		三代道八茶釉寿老人摘蓋香炉	江		個人	昭 55. 6. 28	
		茶室半鐘	江	御幸町 302	本久寺	昭 27. 12. 10	
		熊野山大権現扁額	鎌	和田町 1185	石上寺	昭 31. 9. 12	
		鰐口	江	下庄町 1190	弘法寺	昭 48. 6. 30	
		梵鐘	江	辺法寺町 150	不動院	昭 63. 1. 28	
		鍔革包紺糸胸取威二枚胴具足	江	若山町 7-30	亀山市歴史博物館	平 5. 5. 21	
		黒塗紺糸威仏胴具足	江	若山町 7-30	亀山市歴史博物館	平 13. 1. 25	
		典	鉄眼版一切経	江	若山町 7-30	亀山市歴史博物館	昭 26. 8. 24
			要妙算法	江	若山町 7-30	亀山市歴史博物館	昭 31. 5. 28
			二十一史	江	若山町 7-30	亀山市歴史博物館	昭 31. 5. 28
			掲楣算法	江	若山町 7-30	亀山市歴史博物館	昭 31. 5. 28
	草木図説前篇		江		個人	昭 55. 6. 28	
	古	東海道亀山分間絵図	江		個人	昭 27. 8. 29	
		江神社棟札	江	下庄町 2604	江神社	昭 46. 3. 22	
		紙本墨書兵法自観照	江		個人	昭 63. 1. 28	
		紙本墨書九々五集半田写本	江	若山町 7-30	亀山市歴史博物館	昭 63. 1. 28	
		岡本家文書	江	若山町 7-30	亀山市歴史博物館	平 13. 1. 25	
	歴	亀山問屋場印	江		個人	昭 27. 8. 29	
		忍山神宮寺版木	室	野村 3 丁目 18 - 1	慈恩寺	昭 27. 8. 29	
		御贄神事に関する遺品	江		個人	昭 40. 12. 25	
		御室御所御用札	江	安坂山町 2033 - 1	野登寺	昭 46. 3. 22	
		稲富流砲術に関する遺品	江		個人	昭 51. 1. 28	
		古馬術に関する遺品	江	若山町 7-30	亀山市歴史博物館	昭 51. 1. 28	
	考	薩摩国分寺礎石	奈		個人	昭 27. 6. 18	
宝篋印塔基礎部		鎌	西丸町 570 - 3	亀山神社	昭 27. 6. 18		
大垣内古墳出土品		古	若山町 7-30	亀山市歴史博物館	平 8. 10. 24		

区分	種別	名 称	時代	所 在 地	所有者等	指定年月日
有民		伊勢神宮奉獻常夜燈	江	住山町 430	住山町自治会	昭 27. 8. 29
		能牟良神社常夜燈	江	野村 4 丁目 4 - 65	野村町自治会	昭 28. 5. 26
		和田道標	江	和田町 422 - 1 地先	和田町自治会	昭 42. 1. 17
		谷口法悦題目塔	江	川合町 1542 地先	川合町自治会	昭 63. 1. 28
有・無民		山車 (木崎・大裏町・中町三番町・中町四番町)	江	関町木崎・大裏町 (北裏)・中町三番町・中町四番町	各自治会	平 3. 3. 23
無民		傘鉾		野村 4 丁目 4 - 65 忍山神社	忍山神社奉賛会	昭 27. 12. 10
		獅子舞 (布気皇館太神社)		布気町 1663	布気皇館太神社	昭 31. 5. 28
		獅子舞 (石神社)		三寺町 590 石神社	三寺町自治会	昭 31. 5. 28
		坂下獅子舞		関町坂下	坂下自治会	平 3. 7. 22
		羯鼓踊 (川合町)		川合町	川合羯鼓踊保存会	昭 38. 12. 23
		羯鼓踊 (阿野田町)		阿野田町	阿野田羯鼓踊保存会	昭 43. 12. 25
		かんこ踊り (市場・向井・板屋・中在家・北在家)		加太市場・加太向井・加太板屋・加太中在家・加太北在家	各自治会	平 3. 7. 22
		羯鼓踊 (池山)		安坂山町池山	池山羯鼓踊保存会	平 5. 5. 21
		片角神事麦の強飯		西丸町 570 - 3	亀山神社	昭 43. 12. 25
		正調鈴鹿馬子唄		関町沓掛 123 鈴鹿馬子唄会館	正調鈴鹿馬子唄保存会	平 16. 12. 20
記	史	近藤鐸山墓	明	野村 3 丁目 18 - 1	慈恩寺	昭 26. 12. 26
		黒田孝富墓	明	東町 1 丁目 10 - 14	法因寺	昭 26. 12. 26
		赤堀水之助墓	江	野村 3 丁目 1-4	照光寺	昭 26. 12. 26
		大月関平墓	江	西町 524	遍照寺	昭 26. 12. 26
		柴田右仲墓	江	西町 327	善導寺	昭 26. 12. 26
		堀池衡山墓	江	野村 3 丁目 18 - 1	慈恩寺	昭 26. 12. 26
		山木善太墓	江	野村 3 丁目 1-4	照光寺	昭 26. 12. 26
		関の小萬の墓	江	関町木崎 417 福蔵寺境内	福蔵寺	昭 53. 9. 22
		高橋道八宅跡	江		個人	昭 26. 12. 26
		能古茶屋跡	江		個人	昭 37. 12. 11
		片山神社		関町坂下鈴鹿山	片山神社	昭 53. 9. 22
		川俣神社		加太板屋 5464	川俣神社	昭 53. 9. 22
		権現柿		関町木崎 796 瑞光寺境内	瑞光寺	昭 53. 9. 22
	鈴鹿駅跡 (御厩)		関町古厩字宝路 121	古厩地区自治会	平 16. 12. 20	
	天	池の側松並木		西丸町 534	亀山市	昭 26. 1. 24
		ピランジュ			個人	昭 26. 12. 26
		法因寺の左巻カヤ		東町 1 丁目 10 - 14	法因寺	昭 26. 12. 26
		亀山神社の神スギ		西丸町 570 - 3	亀山神社	昭 34. 12. 8
		於々奈気神社の大クス		中庄町 312 於々奈気神社	中庄町自治会	昭 39. 9. 12
		ナギノキ		川崎町	個人	昭 40. 12. 25
		伊勢屋ソテツ		東御幸町 63 文化会館	亀山市	昭 63. 1. 28
		川俣神社社叢		加太板屋 5469 - 2 他	川俣神社	平 16. 12. 20
	名	筆捨山			個人	昭 53. 9. 22
羽黒山				個人	昭 53. 9. 22	
岩屋観音			関町坂下字石倉 494	法安寺	昭 53. 9. 22	
観音山			関町新所字西町北	亀山市	昭 53. 9. 22	

『東海道歴史文化回廊』の創出に関する方針

〈発行〉 平成19年3月

亀山市

〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地

Tel 0595-84-5078 Fax 0595-82-6161

E-mail shakyou@city.kameyama.mie.jp

ホームページ <http://www.city.kameyama.mie.jp/>

〈編集〉 亀山市教育委員会 まちなみ・文化財室